

幸 町 遺 跡 I

市道高架横断2号線道路改良工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

2005.3

石川県小松市教育委員会

例言

- 1 本書は、市道高架橋断2号線道路改良工事に係る幸町遺跡第3次(通算)発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査及びに係る事務等は、小松市都市建設部道路課より、高架関連市道改良事業費の委託費として転配当を受け、埋蔵文化財調査室が行った。
- 3 発掘調査の識別名称は「市道幸町」、遺物の注記は「SWⅢ」である。
- 4 発掘調査は、平成15年7月28日に着手し、9月26日に完了した。
- 5 発掘調査は、宮田 明が担当し、麻本賢治の協力を受けた。
- 6 発掘調査は、(社)小松市シルバー人材センターより作業員の派遣を受け、一部臨時作業員も雇用した。
- 7 出土品整理及び実測・トレース作業は、臨時作業員を雇用して実施した。
- 8 鍛冶関連遺物について、穴澤義功の指導を受けた。
- 9 遺構・遺物の写真は、全て宮田が撮影した。
- 10 本書の執筆・編集は宮田が行った。
- 11 発掘調査に係る遺物、図面、写真等の資料は、小松市教育委員会一括して保管している。

凡例

- 1 本書に示す座標は、世界測地系(Ⅲ系)に準拠し、高度は標高であり、全て表示の単位はmである。
- 2 本書に示す方位は、座標北である。
- 3 本書に示す土色は、マンセル表色系に準拠している。
- 4 本書に示す土性は、日本ペドロジー学会による野外土性の判定法を参考に表記しているが、土性の判定は行っていない。あくまで相対的な表記である。
- 5 本書に示す実測図には、以下の記号・パターンを使用している。
 - 油煤、煤け(アミ)
 - ▨ 被熱赤化(万線)
 - 軸葉(一点破線囲み、太線)
 - 損傷(破線囲み、太線)
- 6 本書の属性表に示す値の単位は、とくに断りがない限りcm、gである。
- 7 本書で使用する国産陶器の名称は「通称」である。

本文目次

I 位置と環境	1	IV 出土遺物	6
II 調査の概要	3	1 縄文・弥生土器 2 土師器皿 3 瓦器 4 陶磁器	
1 調査にいたる経緯 2 発掘調査		5 妬器 6 円形陶片 7 石製品 8 木製品 9 銭貨	
III 層位の所見と検出された遺構	4	10 鉄製品 11 鍛冶関連遺物 (表1~12)	
1 層位の所見 2 鍛冶関連遺構 3 廃棄土坑		V 結語	26
4 湧水土坑 5 井戸跡 6 複合ピット		報告書抄録	63

図版目次

図版1 幸町遺跡第3次調査区平面図	27	写真図版1 高架下地区1・2	53
図版2 幸町遺跡第3次調査区土層図	29	写真図版3 八幡町地区1~3	55
図版4 鍛冶関連遺構実測図(SF01)	31	写真図版6 出土遺物1~5	58
図版4 廃棄土坑実測図1~4(SK08・12・13・17)	31		
図版8 湧水土坑実測図(SE02・03)	35		
図版9 井戸跡実測図1~3(SE[SI]01・04・05)	37		
図版12 複合ピット(SK11・18・22)	40		
図版13 出土遺物実測図1~12	41		

I 位置と環境

幸町遺跡は、月津台地から北東に延びる砂堤帯上に立地する。この砂堤帯は、沖積層に埋没した浜堤列の一つと考えられるが、確かなことは分らない。

砂堤帯上では、八日市地方遺跡(3)で縄文時代後期中葉を中心に中期後葉から晩期前葉の土器や石器が出土しているが、集落を形成したのは、弥生時代の環濠集落が現段階では最初である。弥生時代後期以降古墳時代にかけて、梯川水系の自然堤防上に集落が展開する趨勢であり、八日市地方遺跡の発掘調査による限りでは、砂堤帯は泥層に埋没していく趨勢であったと思われる。

律令期には、文献上に周辺に野身郷、免橋郷、軽海郷などが見え、発掘資料の蓄積も進んでいるが、砂堤帯における状況はよく分らない。当遺跡の周辺地区に関連するものとしては、8世紀後半、初期荘園の中に小松市本折町が遺称地とされる西大寺領本堀庄の名が挙がる。

中世には、14世紀、渋川氏の領した野代荘が蓮代寺村から本折大垣内まで、本場湖北岸を跨ぐ地域を版図とし、支配は戦国期まで文献上で確認されるという。広島県三原市に所在する「蓮台寺」は渋川氏の普提寺で、小松市蓮代寺町はこの遺称地とされる(42.蓮台寺)。

15世紀前半、当時加賀国守護だった斯波満朝が将軍足利義持に更迭されて、富樫氏が守護職に返り咲き、満春・満成がそれぞれ南加賀・北加賀の半国守護となった。その後満成が没落し、満春が一国守護となるが、15世紀中頃、満春の子の代には、嘉吉元(1441)年に将軍足利義教が謀殺された事件(嘉吉の乱)を契機として、管領細川持之の復権方策にしたがい、同年義教に加賀守護職を更迭されたばかりの教家と弟・泰高の間で守護職争いが起こる(加賀両流争論)。この時に教家は本折但馬入道父子を加賀に入部させ、泰高方の山川氏と交戦している。本折氏は、本折の地を本質地とする富樫氏の有力被官である。因果関係までは言及できないが、この時代の遺物として、本遺跡の北に隣接する多太神社境内で、社殿建設時に中世の埋納渡来銭が見発されている(2.多太神社境内遺跡)。

長享2(1488)年、富樫泰高を擁する一向一揆勢力らが加賀守護・富樫政親の入った高尾城を攻め(長享の一揆)、政親が自刃して以降、「百姓ノ持タル国」(『天正三年記』)と後に評される状態が続くが、この間、16世紀前半代にかけて一向一揆勢は組織の基盤を固め、越前朝倉氏との攻防や越中・能登への侵攻があったと伝えられている。

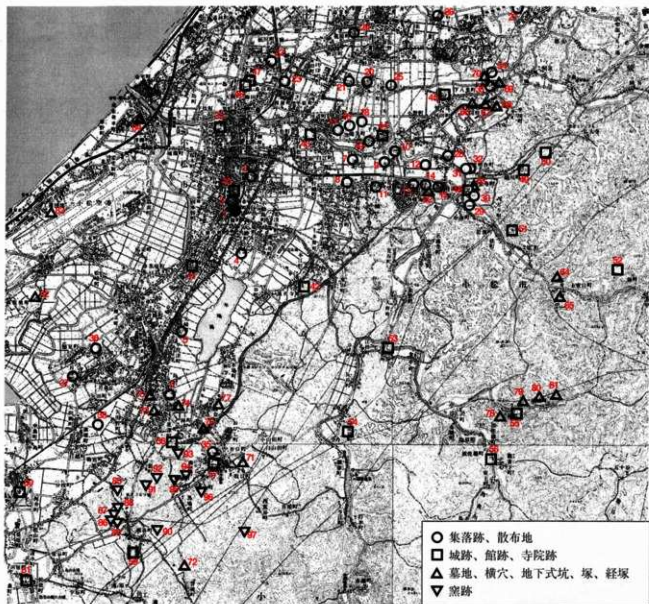
この時代は各所に砦が築かれたと考えられているが、本遺跡の周辺では、「小松」「本折」「御幸塚」の名が文献上に見える。利常入城以前の小松城の縄張りとは不明

である。御幸塚城(41)は、文安年間から高尾城陥落まで富樫泰高の拠点となっていたという。あるいはまた、一向一揆の築いた砦が始まりともいう。天正5(1577)年に修築されたとする史料(『信長公記』)があるので、少なくともこれ以前より城郭を備えていたようだ。本折城(40)は、八幡町と大領野(現在の太領町の西部)の間にあったと『能美郡誌』に記されているが、文献から口伝に基づく情報のようだ。平成4(1992)年刊行の『石川県遺跡地図』で本折城跡として記されているのは、『三州志』のなかで比定されている「本折端」に近い場所とみられる。

本折城跡に関しては近世の段階で既に削平されていたようだが、ここでは城郭の存否はさておきとして、文献上では、少なくとも本折の地は軍事的な要衝の一つであったことが窺われる。

時期は降って16世紀後半代、『三州志』に引用されるころによれば、永禄7(1564)年に朝倉義景が本折小松城を陥れたとする記事(『宗濟雜談』)が見え、また、天正5(1577)年に柴田勝家トヨタカサトが小松村・本折村・安宅など所々を焼き払ったと『信長公記』は伝える。さらに、天正7(1579)年に勝家が安宅・本折・小松町口まで焼き払ったとする記事もある。一向一揆最後の砦とされる鳥越城が陥落するのは、この翌年のことになる。少なくとも、16世紀末には「本折城」なる城の存在は窺われず、「本折」という名の集落だったようだ。ここではとりあえず、文献上にはしばしば「本折」の名が挙がっている点を重視しよう。幸町遺跡は、この文献上に現れる「本折」という地名に深く係わってくる遺跡と考えられる。

近世小松城下町の成立は、寛永17(1640)年の前田利常の入城を契機とし、九龍橋川と鶯橋川の間に町屋が形成された。利常没後は商業都市として存続することとなるが、この時代、小松町の周囲に「地方」と呼ばれる耕地が開墾された。本遺跡の位置する場所は17世紀代には「三日市地方」に属し、天保15(1844)年小松城並城下図に「三日市村」と記されている場所が本遺跡の周辺を含む区域のようだ。



挿図1 周辺の中世遺跡分布図 S=1:100,000

【集落跡、散布地】

- 1.幸町遺跡 2.多大神社境内遺跡 3.八日市地方遺跡 4.浅井囃古戦場 5.矢崎宮の下遺跡 6.鳥遺跡 7.津町遺跡群 8.打越遺跡
 9.佐々木ノテウラ遺跡 10.佐々木アサハケ遺跡 11.八幡遺跡 12.荒木田遺跡 13.軽海遺跡 14.軽海西芳寺遺跡 15.西芳寺遺跡
 16.一針B遺跡 17.一針C遺跡 18.千代・能美遺跡 19.千代オオキダ遺跡 20.千代デジロA遺跡 21.大長野A遺跡 22.松葉遺跡
 23.長田南遺跡 24.高堂遺跡 25.牛島ウハシ遺跡 26.石子遺跡 27.下開免茶臼山遺跡 28.埴田ウラムキ遺跡 29.中海B遺跡
 30.中海C遺跡 31.道泉寺・クボタA遺跡 32.道泉寺・クボタB遺跡 33.上八里A遺跡 34.八里向山C遺跡
 35.戸津八幡神社前遺跡 36.額見町遺跡 37.月津オカ遺跡 38.刀何理遺跡

【城跡、館跡、寺院跡】

- 39.小松城跡 40.本折城跡 41.御幸塚城跡 42.燕古寺跡 43.白江梯川遺跡(白江堡跡) 44.千代城跡 45.河田館遺跡 46.銭畑遺跡
 47.御館遺跡 48.仏生寺跡 49.常徳寺跡 50.綱川堡跡 51.岩淵城跡・仏ヶ原城跡 52.岩倉城跡 53.平野堡跡 54.波在谷城跡
 55.松岡寺跡 56.観音下城跡 57.戸津本蓮寺跡 58.林超勝寺跡 59.那谷寺遺跡 60.動橋堡跡 61.駒使館跡

【墓、横穴、地下式坑、塚、経塚】

- 62.軽海中世墓跡群 63.仏生寺塚 64.麦口中世墓跡 65.下麦口横穴群 66.下八里横穴群 67.穴場横穴 68.上八里横穴群
 69.上八里中世墓跡 70.八里向山F・H遺跡 71.牧口中世墓跡 72.菩提遺跡 73.下栗津横穴群 74.下栗津1・2号横穴 75.鳥経塚
 76.林八幡神社経塚 77.津波倉ホツジ遺跡 78.火灯山横穴群 79.こたい谷横穴 80.穴山横穴 81.池城経塚 82.佐美経塚
 83.日末経塚 84.安宅中世墓跡

【竈跡(加賀窯)】

- 85.箱宮ドウガヤチ1・2号窯 86.那谷オコボ古窯跡 87.那谷ダイテンノウダニ古窯跡 88.那谷コテンノウダニ1・2窯跡
 89.那谷カミヤ古窯跡 90.那谷エモンジャ古窯跡 91.那谷カナクソダニ1号窯 92.二ツ槌オクダニ1号窯 93.戸津13号窯
 94.上荒屋オジマヤ古窯跡 95.上荒屋トリダニ古窯跡 96.湯上ユノカミダニ古窯跡 97.西荒谷カマンダニ古窯跡

II 調査の概要

1 調査にいたる経緯

平成15年2月25日付で小松市都市建設部道路課(以下、道路課)より、小松市八幡町96番地先外1町内の市道高架橋断2号線道路改良工事(以下、当該工事)に係る埋蔵文化財の取り扱いについて協議があった。これを受けて、埋蔵文化財調査室(以下、埋文)が試掘調査を実施したところ、分厚い遺物包含層と遺構の存在が確認され、既往の調査成果も踏まえて、3月19日付で発掘調査等の保護措置が必要である旨を道路課に対して回答した。

この結果を踏まえ、平成15年4月22日付で道路課より、発掘調査計画について照会があり、4月26日付で計画書を提出したが、これは、当該工事について特定防衛施設周辺整備交付金(以下、交付金)の対象事業の申請を行うためのものであり、発掘調査の費用も、この中から支出される計画であった。

2 発掘調査

挿図2に示すように、調査区は、便宜的に「高架下地区」、「八幡町地区」と呼称した。

発掘調査は、高架下地区より着手した。調査対象は約100㎡だったが、大半の区域は削平されていた。高架橋工事と、複線化前の軌道側溝によるものと思われる。

8月3日、地山が検出されない区域が堅穴らしいと予想されたが、掘り下げる毎にプランが歪になり(SI01)、掘り上がりは凡そ住居跡といえるようなものではなく、床面も明確でないが、堅穴の二隅に柱穴らしいピットが検出された。底面で検出された土坑を掘ってみると、結核が出土し、湧水も認められた(SE01)。傍らには粘土が半月形に検出され、瓷器系大壺片が顔を出す。鍛冶滓の集積も確認され、9月3日までに、水洗篩別によって鍛造剥片も検出されるにいたり、鍛冶炉関連遺構と判断した(SF01)。

8月5日に包含層掘削を開始した八幡町地区(約250㎡)は、排土置場に予定していた高架下地区の完了が8月29日にずれ込んだことと、包含層掘削が予想をはるかに上回る土量を出したことで難航し、遺構検出作業を開始したのは、9月5日であった。しかも、大小の掘乱坑が無数に認められ、平面での検出は至難を極めた。

とりあえず邪魔な掘乱坑だけ掘ってみて、おおよそのプランの見当がついた段階で掘り下げを開始したが、最初に手をつけた何とも形容できない大きなプランは、当初自然流路の類かと思われたが、堅穴(SI04)と湧水土坑

しかしながら、最終的に道路課は交付金の申請を断念し、市単独事業として高架関連市道改良事業費の中から発掘調査費用を全て捻出することになった。

道路課より発掘調査依頼が提出されたのは6月3日付で、発掘調査に係る事務に着手したのは6月16日であった。7月上旬での作業開始に向けて準備を進めていたが、調査対象地がJR北陸本線寺町高架橋の真下(以下、高架下)も含まれていたため、JRに対する協議が必要との指摘を受け、6月27日付でJR西日本大阪建設工事事務所福井工事所長に対して近接工事に係る協議書を市長名で提出し、6月30日付で両者の間に覚書を交換した。事前の打ち合わせの不備から、作業開始が遅れた一因でもある。結局、準備が整い作業を開始したのは7月28日、当初の予定より約1ヶ月遅れることとなった。

(SE02、SE03)の複合であった。SI04は⁵⁵⁰堅い埋土を削っていくうちに土坑が検出され、この土坑が結核を入れ子に埋設した井戸跡(SE04)であった。

SE04を検出した段階で、残りの区域を見ると、同じような大きなプランがほんやり、少なくともあと4基、井戸跡ないしは湧水土坑が検出されるのではと予想したが、実際は、井戸跡は1基だけ(SE05)で、残りは、廃棄土坑2基(SK12、SK13)と、1基は試掘坑跡の誤認と判明した。

かくして、発掘調査は9月29日までに完了したが、試掘調査の所見から予想した遺物量は、終わってみれば約5倍に膨れあがっていた。



八幡町地区 発掘調査作業風景

2 鍛冶炉関連遺構 (SF01: 図版4)

高塚下地区で、SI01に隣接して検出された。最初に見えたのは変器系陶片で、粘土層はここから半月形に検出された。これはSK08に切られているため、元は円形プランであったと思われる。

変器系陶片は越前であり、大甕の底部を粘粘土上に設置している。底板と、周りに配置された体下部片は、接合位置と配置が異なり、予め割ったものを並べたようだ。この上にさらに粘土をかぶせているが、底板は、ここに埋設された状態でもさらに破損しているようだ。上に被された粘土層から篩別した、底板に接合した剥片4点中、

3 廃棄土坑 (SK08,SK12,SK13,SK17:図版4~7)

本報告で廃棄土坑とは、人為性の認められない「覆土」(人為的に埋め戻されたと判断した場合は「埋土」と表記)によって埋没した相対的に堀方の浅い土坑を指し、上位層と覆土層が遷移的であるものと定義した。

SK08は前節で触れたが、SF01を切って掘り込んであり、両者で接合する陶片の存在から、鍛冶炉の廃絶行為に関わる遺構か。

SK12は遺物量は少ないものの、下底部に相対的に泥質の黒土が堆積していて、上部に攪乱層はなく、包含層

4 湧水土坑 (SE02,SE03:図版8)

本報告で湧水土坑とは、堀方が湧水準に達する土坑と定義したが、調査時には井戸として扱っていた。結桶のような埋設物がなく、湧水準より下位には、砂の流出が著しいため掘り進むことができない。

SE02は、土層が大きく乱れているが、覆土か埋土か判断がつかない。一部に葉理らしい縞模様が観察された箇所もあったが、全般に雲状~斑状である。また、上部

5 井戸跡 (SE[SI]01, SE[SI]04, SE[SI]05: 図版9~11)

本報告で井戸跡として報告するものは3基で、いずれも結桶が埋設されていた。共通する特徴は、いずれも湧水準をさらに掘り込んでいる点であり、結桶は掘削時には矢板の役割を果たし、掘削後は、結桶の中に水が溜まる構造になっている。

SE[SI]01は、不整なプランの堅穴内に掘削された井戸跡であり、堅穴自体は小規模なものだが、柱穴の可能性のあるピットが二隅に検出されたことから、上屋を伴っていたようだ。あるいは二段掘りの堀方か。結桶は直径約60cm・高さ約50cmを測り、崩落土または攪乱坑掘削の影響で潰れていた。出土状況から、埋没以前にタガがほどけたと思われる。

少なくとも2点は埋設後の剥離と考えられることから、鍛打作業に伴う衝撃による破損と見られ、金床を設置した土台と思われる。SK08には、焼礫とともに越前陶片が下層で出土し、陶片は先述の大甕に接合した。

傍らに鍛冶滓の集積が検出され、これを取り除くとピットが2基できてしまったが、集積が埋没したあと徐々に水に溶けだした酸化鉄が下層に染みこんだものを掘ったようで、内部の鉄は、結核をなした二次集積と見られる。この周辺の砂は、とくに焼けた痕跡はないが、篩別すると夥しい量の鍛造剥片、粒状滓が検出された。

まで遷移的であることが確かめられた。

SK13は、堀方のプランが大きく、相対的に深さもあり、廃棄土坑に分類した中で最大の土坑である。遺物量も最大であり、大小の焼礫のほか、焼鍛冶滓や羽口といった鍛冶関連遺物も多い。

SK17はプランの小さい浅い土坑だが、焼礫や石製品が目立って出土した。ただし、覆土は先述した包含層下部の攪乱層の一部の可能性はある。

も著しい攪乱を受けている。

SE03は、SE02、SI04を切る大型の土坑だが、セクションを精査すると、2~3基程度の土坑の複合のようだ。このうちの少なくとも1基には覆土に葉理が明瞭に観察されるが下部では土層が乱れていて、掘り直された形跡と思われる。下部の泥質層は、2箇所で円く現れ、結桶を抜き取った痕跡かもしれない(後述)。

SE[SI]04も、不整なプランの堅穴内に掘削されていた。八幡町地区では最も標高の低い地点である。堅穴は斑状の堅い層であり、堅穴を掘削したと言うよりは、凹地を埋め立てて堅穴状に造成したように思われた。堅穴の埋土も同様に斑状で堅く、柱穴と思われるピットは検出されなかった。調査時の知見として、この斑状の埋土は3層目を検出した段階で井戸跡堀方のプランが見えてきた経緯を重視して、本報告でも最終的に堅穴と考えた。結桶は直径約80cm・高さ80cm以上と、直径約60cm・高さ40cm以上の二つを入れ子にしている。湧水準よりも40~50cm程度さらに掘削している。外側の結桶はひしゃげているが、外側が空洞になっている箇所があり、

土圧が直接的な原因ではないようだ。西側にいくぶん傾いている点からは抜き取りを試みた可能性もある。

SE [SI] 05は、堅穴が不明瞭で、堀方のプランが大きい。結桶の半分は壊れているが、直径約70cm・高さ

60cm以上を測る。結桶の壊れ方は外側に跳ねた樽板があり、土圧が原因ではあり得ない。堀方が大きいことと併せて廃絶時に掘り出そうと試みた結果の破損のようだ。

6 複合ピット (SK11, SK18, SK22: 図版12)

プランを検出した段階では単独の土坑と思われたが、完掘状態でピットの複合となったものである。それぞれのピットには切り合い関係があり、近接して環状に、連

続して掘削されている。性格は不明だが、焼燥と凹石が重なって出土したSK22C(写真図版5)の事例による限り、埋納遺構の可能性はある。

IV 出土遺物

1 縄文・弥生土器 (図版13-1・2)

縄文土器は、胎土に赤色粒を含み、表層は酸化色を呈する。損傷著しく図示できないが、細密な半隆線縁が見える破片があり、前期末～中期前葉か。

弥生土器(1・2)は、地山砂界面付近と遺構覆土下部で

出土する傾向があり、いずれも第1・2次調査区に近接する地点で認められた。1は壺、2は高坏で、それぞれの特徴から、順に猫橋式、法仏式に比定される後期の資料である。

2 土師器皿 (表2; 挿図3; 図版13・14-6~23)

土師器皿は最も普遍的に出土した。全て非口クロ系であり、以下のように分類した。

器形の分類 (藤田1989を敷衍; 挿図3)

A: 口縁部が内彎～外反気味に立ち上がる。

E: 口縁部を強い横ナアで外反させる。

F: 口縁部が外傾して広がる。

他、中間形態として、AE・EF・AFを設定した。

成形の分類 (挿図3)

I1: 粘土重畳、厚手(原則として二枚重ね)

I2: 粘土単層、厚手(部分貼り接ぎあり)

II1: 粘土重畳、薄手(断口で薄層の剥落)

II2: 粘土単層、薄手(超薄手あり)

形態的に主体を占めるのはAとEFで、後者は分類上形態偏差が大きい。Aは口径に比例して厚みを増す傾向が看取されるがEFでは不規則で、属性の相関性は小さい。Aは相対的に小型厚手、EFは相対的に大型薄手に、僅かだが傾くようだ。挿図3参照。

ID(R)21のように離れたグリッド間の接合例もあり、一括廃棄されたような状況も見られない。表2参照。

また、15に墨書がある。

3 瓦器 (図版13-3~5)

3はSK08から出土した口縁部、4はSI01、5はSK12から出土した底部である。印文等の装飾部の破片はなく、

5は底面が著しく被熱している。いずれも火鉢の類であろう。

4 陶磁器 (表3・4; 挿図4; 図版15・16-24~73)

白磁(24~28) 殆どは皿の破片であり、ID(B)3を除きD群(森田1982)とされる皿である。表3参照。

青花(29~30) 図示したのは中国産と思われる唐草文と十字花文で装飾した碗・皿である。近世以降の染付(62~70)は、肥前系と思われるものを抽出したが、青みを帯びるとされる17世紀後半以降が中心のようだ。他に、17世紀前半代に多いという辰砂染付(65・66)が認められた。その他は表4参照。

青磁(31~37) 文様を指標に軸調で敷衍すれば全て龍泉窯系と思われ、碗・椀・皿・盤が認められる。

粉青(38) 見込に白泥の象嵌が施される朝鮮系陶器であり、登付から胎土目痕と底面の兜巾が特徴的な碗である。

瀬戸(39~50) 灰釉系は概ね古瀬戸後期後半～大瀬戸前半の資料が主体である。43は志野である。42は鉄軸で焼き色が著しく赤い。

天目(51~56) いわゆる天目茶碗である。特徴の明らかなものは全て瀬戸・美濃製品と思われる。55・56は茶入と思われる破片である。

唐津(57~61) 中世末から近世資料を含めて抽出したものは、薬灰釉・透明釉・鉄絵・白泥の波状刷毛目といった特徴を重視したが、手元の資料(九州近世陶磁学

会2000)だけを拠り所にしてるので、染付も含め、誤認資料については容赦されたい。表4参照。

5 炆器(表5; 図版17・18-74~93)

中世炆器は、越前(74~86)、珠洲(87~93)が認められる。器種別に見ると、越前は大甕・甕が主体で、珠洲は襦鉢が主体である。特徴の見えるものは概ね14~15世紀代の資料である。鍛冶が関連遺構(SF01)埋設の大甕75は、

先述のSK08の他、SK19から出土した破片も接合し、他に表5のID(Y)65など、土師器皿で見られたのと同様に離れたグリッド間の接合例がある。

その他 須恵器で、坏(A)や甕の細片がある。

6 円形陶片(表6; 図版19-94~116)

本報告で円形陶片とは、炆器の破片を打ち欠いて円形~略円形に整形したものの総称としたが、1例だけ、瀬戸・美濃製品の陶片を整形したものがある(116)。本道跡で

は井戸跡・湧水土坑からの出土が多い。概ね直径2~4cm程度の大きさに揃っているが、114は直径5cmを越え、抜き出て大きい。

7 石製品(表7; 図版19~21-117~136)

石鉢(117~120)はすべて丸型だが、117は造作が粗く内部が彫けている。121~125は行火と蓋である。

126・127は石臼である。変わったところでは掌に乗るほどの小型石臼(128)があり、いびつだが、使用可能な造作はされている。

129~132は砥石である。中砥~仕上げ砥が多いが、荒砥が1点認められた(129)。

加工機は、多くは加工面に煤が付着する。円形の凹みが設けられているものは、「凹石」として分類上区別した(133~135)。また、焼けた円礫や角礫、及びこれらの破片が普遍的に出土した。前者は時に遺構内にかたまっで出土することがあり、顕著な例として、SK05(廃棄土坑)では出土遺物の殆どが焼けた円礫であった。

136は、刃痕がついた円礫である。

8 木製品(図版9~11; 図版21-137~142)

結桶(図版9~11) 井戸枠として使用されたものが4点出土した。下層の砂に深く差し込まれていて引き上げることが出来ず、実測図はないが、SE04以外はタガは残存していなかった。SE04二段目の結桶が精製品の他

は榎板の加工が粗く、加工痕が見える。

箸(137~139) SE05・SK13から計5点出土した。図はうち3点である。

曲物(140~142) 図は底板と側板である。

9 銭貨(表8; 図版22-143~149)

本道跡で出土した銭貨は穴銭銅貨である。文字の判別

できる11点はすべて渡来銭である。

10 鉄製品(表9~11; 図版22-150~154)

稀に铸造品(154)が認められるが、大多数は鍛造品であり、主に釘と思しき棒状品である(150・151)。152は^{SE03}SE03で、SE03出土だが、攪乱坑の混入か。全般に鍛冶関

連遺物と乖離した製品で占められ、近代以降の製品が混入するようだ。なお、サビの除去を行っていないので、実測図はサビの描画となっている。

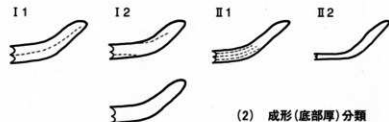
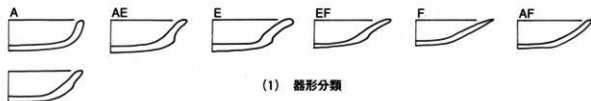
11 鍛冶関連遺物(表9~11; 図版22~24-155~188)

椀形鍛冶滓は小型に偏る傾向があるが、図示した含鉄滓(155~170)は相対的に大型でメタル度が高いようだ。鉄塊系遺物(171~180)は小片が多く、鍛錬工程を示す遺物は、SF01で検出した鍛造剥片と粒状滓のみである。

鍛冶関連遺物は稀で、相対的に大振りの羽口(183~185)と、鍛冶炉は壁面の立つ深い土坑が想定される炉壁片(186~188)との相関から、全般に鍛錬鍛冶を伴う精錬鍛冶主体の操業と思われる。

国名	番号	IRIS	緯度	経度	高度	気圧	気温	湿度	風速	風向	天候	飛行時間	備考
	005	SR02	9	0.11	1.3	0.8	A11	気流	気流				
	006	SR03	9	0.11	1.4	0.8	A11	気流	気流				
	007	SR04	10	0.11	1.4	0.8	FP11	気流	気流				
	008	SR05	10	0.12	1.6	0.7	B22	気流	気流				
	009	SR06	9	0.08	1.4	0.8	A11	気流	気流				
	010	SR07	9	0.14	1.4	0.4	A12	気流	気流				
	011	SR08	9	0.17			B11	気流	気流				
	012	SR09	7	0.17			B11	気流	気流				
	013	SR10	8	0.14	1.2	0.8	A12	気流	気流				
	014	SR11	12	0.11	0.8	0.4	B12	気流	気流				着目
	015	SR12	8	0.08	0.8	0.4	A12	気流	気流				
	016	SR13	9	0.11			A11	気流	気流				
	017	SR14	8	0.08	0.8	0.5	FP11	気流	気流				
	018	SR15	8	0.11	1.2		B11	気流	気流				
	019	SR16	8	0.08	0.9	0.7	FP12	気流	気流				
	020	SR17	9	0.17	0.9	0.5	FP13	気流	気流				
	021	SR18	11	0.11	0.8	0.8	FP11	気流	気流				○
	022	SR19	9	0.08	1.0	0.4	B12	気流	気流				
	023	SR20	8	0.19	0.7	0.4	AP12	気流	気流				
	024	SR21	8	0.11	1.3	0.8	B11	気流	気流				
	025	SR22	9	0.02	1.4	0.5	FP12	気流	気流				
	026	SR23	9	0.11			P11	気流	気流				
	027	SR24	8	0.17	1.6	0.5	FP11	気流	気流				○
	028	SR25	9	0.14	1.4	0.7	A12	気流	気流				十字ムラ
	029	SR26	8	0.08	1.2	0.6	B12	気流	気流				
	030	SR27	10	0.14	0.8	0.8	FP11	気流	気流				○
	031	SR28	9	0.11			B11	気流	気流				
	032	SR29	11	0.14	1.4		FP11	気流	気流				
	033	SR30	8	1.02	1.2	0.4		気流	気流				
	034	SR31	9	0.11	0.9	0.4	B12	気流	気流				
	035	SR32	7	0.11			A11	気流	気流				着目
	036	SR33	8	0.17	1.0	0.8	A11	気流	気流				
	037	SR34	11	0.11	1.0	0.4	A12	気流	気流				
	038	SR35	10	0.11	0.9	0.4	FP12	気流	気流				○
	039	SR36	10	0.14	1.3	0.7	FP11	気流	気流				○
	040	SR37	9	0.08	1.2	0.5	A11	明確に気流					
	041	SR38	10	0.11			FP12	明確に気流					
	042	SR39	9	0.11	1.3	0.8	FP11	明確に気流					○
	043	SR40	7	0.05			A11	気流	気流				○
	044	SR41	8	0.11	1.1	0.5	FP12	気流	気流				○
	045	SR42	8	0.08			A11	気流	気流				○
	046	SR43	7	0.05	1.3	0.4	AP12	気流	気流				
	047	SR44	10	0.08	1.4	0.5	P12	明確に気流					
	048	SR45	10	0.14	1.4	0.5	FP11	気流	気流				
	049	SR46	10	0.08			P11	気流	気流				十字ムラ
	050	SR47	8	0.08	1.1	0.5	FP11	気流	気流				○
	051	SR48	11	0.10			P11	飛行時間					
	052	SR49	8	0.14	1.1	0.7	A12	気流	気流				十字ムラ
	053	SR50	10	0.11	1.5	0.4	FP11	気流	気流				
	054	SR51	9	0.11	1.2	0.5	FP11	気流	気流				
	055	SR52	7	0.01	1.4	0.5	A11	気流	気流				着目
	056	SR53	8	0.14	1.5	0.4	AP11	気流	気流				○
	057	SR54	8	0.11			P11	気流	気流				
	058	SR55	12	0.08			P12	気流	気流				○
	059	SR56	8	0.11	1.4	0.5	FP12	気流	気流				○
	060	SR57	7	0.04	0.7	0.4	A11	気流	気流				○
	061	SR58	8	0.11	1.7	0.4	A11	気流	気流				
	062	SR59	10	0.08	0.9	0.4	FP12	気流	気流				
	063	SR60	13	0.08			FP12	気流	気流				
	064	SR61	8	0.08			A12	気流	気流				
	065	SR62	8	0.15	1.3	0.5	FP11	気流	気流				着目
	066	SR63	9	0.08	1.3	0.8	FP12	気流	気流				
	067	SR64	10	0.13	1.5	0.4	FP12	気流	気流				
	068	SR65	10	0.08	1.6	0.7	FP12	気流	気流				○
	069	SR66	7	0.19	1.7	0.7	A11	気流	気流				○
	070	SR67	10	0.11	1.3	0.5	FP12	気流	気流				
	071	SR68	12	0.08			A12	気流	気流				
	072	SR69	11	0.07			FP12	気流	気流				
	073	SR70	8	0.17	1.5	0.5	A12	気流	気流				着目
	074	SR71	8	0.15	1.4	0.5	A11	気流	気流				
	075	SR72	8	0.11	1.7	0.7	FP12	気流	気流				着目
	076	SR73	8	0.11	1.5	0.5	A11	気流	気流				○
	077	SR74	17	0.02	1.8	0.7	A11	気流	気流				
	078	SR75	10	0.13	1.4	0.7	A11	気流	気流				十字ムラ
	079	SR76	7	0.14	1.5	0.4	A11	飛行時間					着目
	080	SR77	13	0.08			FP11	飛行時間					十字ムラ
	081	SR78	8	0.02	1.3	0.4	B11	明確に気流					
	082	SR79	8	0.14	1.4	0.3	P12	気流	気流				
	083	SR80	8	0.08	1.4	0.4	FP11	気流	気流				着目
	084	SR81	8	0.14	1.5	0.4	A12	気流	気流				
	085	SR82	12	0.13			FP11	気流	気流				着目
	086	SR83	9	0.08			FP11	気流	気流				
	087	SR84	10	0.08			FP12	明確に気流					
	088	SR85	11	0.08	1.6	0.5	B12	気流	気流				
	089	SR86	9	0.11	2.0	0.7	B12	気流	気流				
	090	SR87	12	0.08			P12	気流	気流				
	091	SR88	8	0.11	1.7	0.4	AP12	明確に気流					
	092	SR89	8	0.14			A11	明確に気流					
	093	SR90	8	0.15			A11	明確に気流					
	094	SR91	11	0.17	1.8	1.0	A12	明確に気流					
	095	SR92	12	0.08			A12	気流	気流				
	096	SR93	11	0.07			FP12	気流	気流				
	097	SR94	12	0.08			FP11	気流	気流				
	098	SR95	8	0.02	1.6	0.7	A12	気流	気流				
	099	SR96	9	0.08	1.5	0.5	FP11	気流	気流				
	100	SR97	10	0.08			FP12	明確に気流					○
	101	SR98	10	0.08	1.6	0.5	FP11	気流	気流				
	102	SR99	10	0.06	1.7	0.4	FP12	気流	気流				
	103	SR100	10	0.11			FP12	気流	気流				
	104	SR101	8	0.10			FP12	気流	気流				着目
	105	SR102	9	0.08	1.4	0.9	FP12	明確に気流					○
	106	SR103	7	0.19	1.4	0.4	A11	明確に気流					着目
	107	SR104	8	0.15			A11	明確に気流					○
	108	SR105	9	0.08	1.6	0.5	B12	気流	気流				
	109	SR106	9	0.08			P11	気流	気流				○
	110	SR107	9	0.11	1.4	0.4	FP11	気流	気流				○
	111	SR108	9	0.14			A12	気流	気流				
	112	SR109	8	0.08			A12	気流	気流				十字ムラ

図例	番号	ICR	容積	口径	高さ	底径	底厚	底形	色澤	胎ノ/大層	産後	適合	破産	備考
	301	1	7	0.25	1.1	0.6	AII	浅黄褐色						
	302	1	10	0.32	1.6	0.6	PII	浅黄褐色						
	303	1	9	0.14	1.2	0.6	APII	浅黄褐色						
	304	1	9	0.17	1.3	0.7	AII	灰白/灰白						有目
	305	1	9	0.11	0.9	0.6	PII	灰白/浅黄褐色						
	306	1	10	0.11	0.9	0.6	APII	浅黄褐色						
	307	1	10	0.14	0.9	0.6	PII	灰白/灰白						有目
	308	1	11	0.08			PII	浅黄褐色						
	309	1	10	0.11	0.8	0.5	PII	灰白/灰白						
	310	1	10	0.06	0.9	0.5	APII	灰白/浅黄褐色						ナマムシ
	311	1	11	0.08	0.9	0.6	PII	灰白/灰白						
	312	1	8	0.17	1.3	0.6	AIII	浅黄褐色						
	313	SK13	17	0.11			APII	灰白/黄褐色						
	314	SK13	9	0.08	1.1	0.6	PII	灰白/浅黄褐色						



A 20 群

口径	口径	高さ	底径	底厚
平均	9.0	0.8	0.9	0.29
最大値	8.1000	1.4515	0.9130	
最小値	1.3667	0.3058	0.1752	
標準偏差	0.9237	0.2723	0.1388	
最大径	15.0	3.0	1.0	
底径	8.0	1.4	0.7	
底厚	6.0	0.8	0.3	

口径/高さ	口径/底径
0.1223	0.5041
0.1405	
0.49	
0.41	

EF 23 群

口径	口径	高さ	底径	底厚
平均	9.817	1.2911	0.5508	0.20
最大値	1.6451	0.2877	0.1236	
最小値	1.9336	0.2398	0.1009	
標準偏差	14.0	2.0	0.5	
最大径	10.0	1.2	0.5	
底径	7.0	0.7	0.3	

口径/高さ	口径/底径
0.0247	0.1100
-0.0208	
40	
47	

AF 42 群

口径	口径	高さ	底径	底厚
平均	8.787	1.4667	0.5807	11
最大値	1.2059	0.3189	0.1509	
最小値	1.0238	0.2685	0.1241	
標準偏差	13.0	2.1	0.6	
最大径	8.0	1.3	0.6	
底径	7.0	0.9	0.3	

口径/高さ	口径/底径
-0.2056	0.6838
-0.1443	
23	
19	

F 33 群

口径	口径	高さ	底径	底厚
平均	10.571	1.3500	0.5278	14
最大値	2.0472	0.4298	0.1967	
最小値	1.6522	0.3444	0.1562	
標準偏差	18.0	2.3	1.0	
最大径	10.0	0.9	0.3	
底径	7.0	0.6	0.3	

口径/高さ	口径/底径
0.2418	-0.1647
-0.2136	
8	
27	

E 54 群

口径	口径	高さ	底径	底厚
平均	9.4908	1.5065	0.5114	10
最大値	1.5249	0.3799	0.1352	
最小値	1.2333	0.2938	0.1099	
標準偏差	14.0	2.4	0.5	
最大径	9.0	1.4	0.5	
底径	7.0	0.8	0.3	

口径/高さ	口径/底径
0.2259	0.1373
0.2392	
10	
38	

AF 10 群

口径	口径	高さ	底径	底厚
平均	9.0000	1.2	0.4412	9
最大値	2.3620	0.3409	0.0974	
最小値	1.0843	0.2974	0.0768	
標準偏差	17.0	2.1	0.7	
最大径	8.0	1.5	0.4	
底径	7.0	0.6	0.3	

口径/高さ	口径/底径
0.4493	0.6499
-0.2500	
3	
16	

挿図3 土器皿の分類

品名	品目	品名	品名	品名	口径	高さ	口径	高さ	加工品/検査	検査	検査	検査
10	40	111	丸碗	丸碗	11	0.06			灰白磁碗(17)2			
		112	丸碗	丸碗	10	0.14	4	0.20	灰白磁碗(17)2			底面付(底面)
		113	丸碗	丸碗	6	0.20			灰白磁碗(17)2			
		114	丸碗	丸碗	6	0.20			灰白磁碗(17)2			胎面付
		115	丸碗	丸碗	6	0.17			灰白磁碗(17)2			
		116	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		117	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
16	47	118	丸碗	丸碗	16	0.06			灰白磁碗(17)2			
		119	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		120	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		121	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		122	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		123	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		124	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		125	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		126	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		127	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		128	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		129	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		130	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		131	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		132	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		133	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		134	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		135	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		136	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		137	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		138	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		139	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		140	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		141	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
		142	丸碗	丸碗	12	0.06			灰白磁碗(17)2			
15	44	143	丸碗	丸碗	4.5	0.17			灰白磁碗(17)2			
		144	丸碗	丸碗	4.5	0.17			灰白磁碗(17)2			
		145	丸碗	丸碗	4.5	0.17			灰白磁碗(17)2			
		146	丸碗	丸碗	4.5	0.17			灰白磁碗(17)2			
		147	丸碗	丸碗	4.5	0.17			灰白磁碗(17)2			
		148	丸碗	丸碗	4.5	0.17			灰白磁碗(17)2			
		149	丸碗	丸碗	4.5	0.17			灰白磁碗(17)2			
		150	丸碗	丸碗	4.5	0.17			灰白磁碗(17)2			
15	45	151	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		152	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		153	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		154	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		155	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		156	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		157	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		158	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		159	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		160	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		161	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		162	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		163	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		164	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		165	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		166	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		167	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		168	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		169	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		170	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		171	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		172	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		173	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		174	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		175	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		176	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		177	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		178	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		179	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		180	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		181	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		182	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		183	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		184	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		185	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		186	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		187	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		188	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		189	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			
		190	丸碗	丸碗	10	0.11			灰白磁碗(17)2			



挿図4 陶磁器碗皿類の主要器形分類(本報告)

国名	番号	ISO-V	種別	名称	平船名	計日	日付	機名	航路	航路	航路距離(km)	船種	船主/運賃	積付	積付品	積付品	時期
	111	US	SR17	定期船	定期船												
	112	G	定期船	定期船													
	113	G	定期船	定期船													
	114	G	定期船	定期船													自然船
	115	SR04	定期船	定期船													船引き
	116	SR13	定期船	定期船													
	117	G	定期船	定期船													神宮
	118	G	定期船	定期船													
	119	G	定期船	定期船													
	120	G	SR03	定期船	定期船												
	121	G	定期船	定期船													
	122	SR02	定期船	定期船													
	123	H	定期船	定期船						13	0.11						
	124	F	定期船	定期船						20	0.17						
	125	A	定期船	定期船													
	126	F	定期船	定期船													
	127	SR02	定期船	定期船													
	128	F	定期船	定期船													
	129	SR13	定期船	定期船						21	0.11						15-VI
	130	SR03	定期船	定期船													15-VI
	131	G	定期船	定期船													
	132	G	定期船	定期船													
	133	F	定期船	定期船													神宮
	134	SR14	定期船	定期船													
	135	G	定期船	定期船													
	136	G	定期船	定期船													
	137	SR03	定期船	定期船													
	138	H	定期船	定期船													
	139	F	定期船	定期船													
18	83	G	G-SR03	定期船	定期船					31	0.31						15-VI
	140	G	定期船	定期船													
18	85	142	SR13	定期船	定期船					14	0.44						内航船
	143	F	定期船	定期船						14	0.33						内航船
18	86	144	F	定期船	定期船					13	0.35						
	145	H	定期船	定期船													
	146	G	定期船	定期船													
	147	G	定期船	定期船													
	148	SR20	定期船	定期船						20	0.11						内航船
	149	G	定期船	定期船						20	0.17						内航船
	150	G	G-SR13	定期船	定期船												14-VI
	151	F	定期船	定期船													14-VI
	152	SR03	定期船	定期船													
	153	SR12	定期船	定期船													
	154	SR01	定期船	定期船													
	155	F	定期船	定期船													
	156	G	定期船	定期船													
	157	H	定期船	定期船						11	0.17						14-VI
	158	SR03	定期船	定期船						10	0.22						
	159	G	定期船	定期船													
18	84	160	G	定期船	定期船					10	0.17						14-VI
18	81	160	G	G-SR03	定期船	定期船				34	0.14						
	161	G	定期船	定期船						41	0.11						
	162	G	定期船	定期船													
18	82	162	SR03	定期船	定期船					30	0.11						
	163	SR13	定期船	定期船													
	164	SR03	定期船	定期船						20	0.06						
	165	SR03	定期船	定期船						20	0.06						
	166	D	定期船	定期船						24	0.06						
	167	SR14	定期船	定期船													
	168	D	定期船	定期船													
	169	SR03	定期船	定期船													
	170	SR03A	定期船	定期船													
	171	D	定期船	定期船													
	172	F	定期船	定期船													
	173	F	定期船	定期船													
	174	F	定期船	定期船													
	175	D	定期船	定期船													
	176	G	定期船	定期船													
	177	F	定期船	定期船						19	0.06						
	178	F	定期船	定期船													
	179	F	定期船	定期船						8	0.17						
	180	SR03A	定期船	定期船													内航船
	181	H	定期船	定期船													
	182	SR03	定期船	定期船													
	183	G	定期船	定期船													
	184	SR03	定期船	定期船													
	185	H	定期船	定期船													
	186	SR03	定期船	定期船													
	187	F	定期船	定期船													
	188	SR12	定期船	定期船													
18	87	189	F	定期船	定期船					17	0.03						
18	89	190	H	定期船	定期船					10	0.08						
18	90	191	SR03	定期船	定期船					7	0.02						
	192	G	定期船	定期船													
	193	F	定期船	定期船													
	194	SR03A	定期船	定期船													
	195	SR03A	定期船	定期船						14	0.14						
18	92	196	SR13	定期船	定期船					20	0.14						
18	93	197	H	定期船	定期船					14	0.26						内航船
	198	H	G-SR03A	定期船	定期船					15	0.14						
	199	G	定期船	定期船													
18	90	200	G	定期船	定期船					27	0.08						15-VI
	201	F	定期船	定期船						37	0.06						14-VI
	202	F	定期船	定期船						24	0.02						14-VI
	203	SR13	定期船	定期船													15-VI
	204	F	G-SR13	定期船	定期船					26	0.17						15-VI
	205	H	定期船	定期船													
	206	H	G-SR13	定期船	定期船												
	207	SR03	定期船	定期船													
	208	H	定期船	定期船						42	0.06						14-VI
	209	SR03	定期船	定期船													15-VI
	210	F	定期船	定期船						35	0.06						15-VI
	211	G	定期船	定期船													15-VI
18	91	212	G	定期船	定期船					33	0.11						14-VI
	213	SR03	定期船	定期船													

表6 円形陶片属性表

図号	番号	出土位置	形状	素材	分類	分属	高	径	厚	重量	出所 (層下/表層)/ 出所層	備考
	1	D-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.15	2.07	0.88	6.83	磁器(土器)白土層	
	2	D-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.10	2.00	1.49	9.35	磁器	
	3	D-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.02	2.04	1.15	13.54	磁器(赤土層)	
	4	D-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.40	2.41	1.16	8.48	磁器(赤土層)	
	5	D-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.18	2.00	1.02	6.12	磁器(土器)白土層	
	6	D-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.04	2.18	1.27	13.39	磁器(赤土層)	
	7	F-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.41	2.41	1.27	19.1	磁器(赤土層)	
	8	F-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.47	2.45	1.80	8.96	浅黄褐色(明石層)	
	9	F-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.20	2.00	1.48	9.94	磁器(赤土層)	
	10	F-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.43	2.38	1.98	8.27	磁器(赤土層)	
	11	F-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.00	1.92	1.04	5.37	磁器(土器)白土層	
	12	F-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.03	2.12	1.32	13.05	磁器(土器)白土層	
	13	F-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.00	1.84	1.04	6.08	磁器(土器)白土層	
	14	F-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.16	1.95	1.05	9.42	磁器(赤土層)	
	15	F-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.04	2.04	1.20	10.49	磁器(土器)白土層	
	16	F-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.21	2.17	1.52	11.49	磁器(赤土層)	
	17	F-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.27	1.80	1.27	6.86	磁器(土器)白土層	
	18	F-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.05	1.77	1.28	8.54	磁器(赤土層)	
	19	F-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.32	2.01	1.11	5.78	浅黄褐色(明石層)	
	20	F-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	1.70	1.43	1.11	3.13	磁器(土器)白土層	
	21	G-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.05	2.08	1.27	12.07	磁器(赤土層)	
	22	G-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.00	2.00	1.04	13.19	磁器(土器)白土層	
	23	G-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.84	2.62	1.18	11.34	磁器(赤土層)	
	24	G-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.14	2.04	1.32	14.72	磁器(赤土層)	
	25	G-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.48	2.04	1.05	7.19	浅黄褐色(明石層)	
	26	G-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.49	2.89	1.50	9.02	浅黄褐色(明石層)	
	27	G-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	3.11	2.92	1.80	10.12	浅黄褐色(明石層)	
	28	G-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	1.98	2.25	1.09	4.66	磁器(土器)白土層	
	29	G-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	3.20	2.05	1.35	18.50	磁器(赤土層)	
	30	G-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.32	2.04	1.26	9.08	磁器(赤土層)	
	31	G-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.19	1.88	1.00	5.94	磁器(赤土層)	
	32	G-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.11	1.18	1.06	3.92	赤白(土器)白土層	
	33	H-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.13	0.78	1.44	3.28	磁器(土器)白土層	
	34	H-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.28	1.28	1.36	11.52	赤白(土器)白土層	
	35	H-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	1.74	1.54	1.28	5.19	赤白(土層)	
	36	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	1.75	1.78	1.05	4.95	赤白(土層)	
	37	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	1.95	1.52	1.03	45.25	赤白(土層)	
	38	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.06	2.28	1.11	15.78	磁器(赤土層)	
	39	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.05	2.08	1.11	15.28	赤白(土器)白土層	
	40	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	3.56	3.06	1.47	26.86	赤白(土器)白土層	
	41	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	3.00	2.62	1.20	17.84	磁器	
	42	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.05	2.05	1.11	8.71	磁器(土器)白土層	
	43	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.11	2.27	1.11	7.80	赤白(土層)	
	44	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.53	1.84	0.91	6.50	赤白(浅黄褐色)	
	45	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	1.60	1.68	1.11	7.38	赤白(浅黄褐色)	
	46	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	1.78	1.28	1.00	4.64	磁器(土器)白土層	
	47	I-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.38	2.20	1.28	8.51	磁器(土器)白土層	
	48	I-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.82	2.14	1.30	10.27	赤白(浅黄褐色)	
	49	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.42	2.04	1.15	8.36	磁器(赤土層)	
	50	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.79	2.40	1.27	6.68	赤白(明石層)	
	51	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.00	2.00	1.03	6.87	赤白(明石層)	
	52	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.23	2.22	1.38	11.53	磁器(赤土層)	
	53	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	3.00	2.32	1.42	13.13	磁器(赤土層)	
	54	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.25	1.81	1.27	7.81	磁器(土器)白土層	
	55	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.46	1.96	1.06	7.28	磁器(赤土層)	
	56	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.00	1.87	1.27	6.57	赤白(土器)白土層	
	57	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.16	2.10	1.11	8.17	赤白(浅黄褐色)	
	58	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.13	1.86	1.45	7.89	赤白(浅黄褐色)	
	59	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.42	1.78	1.49	7.84	浅黄褐色(土器)白土層	
	60	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.25	1.92	1.61	8.87	赤白(浅黄褐色)	
	61	SH0A	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.49	2.23	1.30	10.91	赤白(浅黄褐色)	
	62	SH0A	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.62	1.85	1.41	9.53	磁器(赤土層)	
	63	SH0A	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.74	2.68	2.09	16.88	赤白(浅黄褐色)	
	64	SH0A	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.56	2.27	1.38	8.27	赤白(赤土層)	
	65	SH0A	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.11	2.05	0.89	6.07	磁器(土器)白土層	
	66	SH0B	丸形	変形赤土	磁器	磁器	3.30	2.28	1.57	13.38	磁器(赤土層)	
	67	SH0B	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.80	2.25	1.08	8.41	磁器(土器)白土層	
	68	SH0B	丸形	変形赤土	磁器	磁器	1.96	1.34	1.12	4.22	赤白(明石層)	
	69	SH0B	丸形	変形赤土	磁器	磁器	1.88	1.84	1.28	6.88	赤白(浅黄褐色)	
	70	SH0B	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.10	1.87	1.41	7.87	赤白(赤土層)	
	71	SH05	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.24	2.12	1.13	11.28	赤土層	
	72	SH05	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.28	1.89	1.28	7.82	赤土層	
	73	SH05	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.28	1.49	1.21	5.84	磁器(赤土層)	
	74	SA11	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.46	2.18	1.00	7.92	磁器(土器)白土層	
	75	SA12	丸形	変形赤土	磁器	磁器	3.13	2.14	1.11	13.78	赤土層	
	76	SA12	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.65	2.37	1.52	9.57	赤土層	
	77	SA12	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.52	2.49	1.28	9.27	赤白(土層)	
	78	SA12	丸形	変形赤土	磁器	磁器	1.82	1.80	1.06	4.60	赤白(赤土層)	
	79	SA14	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.19	1.88	1.06	5.53	赤白(土層)	
	80	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.72	2.26	1.26	12.62	磁器(土器)白土層	
	81	SH03B	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.64	2.45	1.39	11.41	赤土層	
	82	SH03B	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.25	2.00	1.14	6.88	赤土層	
	83	SH03B	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.04	1.87	1.03	5.73	赤土層	
	84	SH03B	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.44	1.80	1.65	14.00	赤土層	
	85	SH04	丸形	変形赤土	磁器	磁器	5.38	5.02	1.23	65.11	赤土層	
	86	SH04	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.45	2.39	1.27	9.39	赤土層	
	87	SH12	丸形	変形赤土	磁器	磁器	3.92	2.80	1.41	18.05	赤土層	
	88	B-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	3.03	2.80	1.23	13.96	赤土層	
	89	C-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.87	2.14	1.11	10.27	赤土層	
	90	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.48	2.14	1.20	8.82	赤土層	
	91	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.25	2.24	1.48	9.02	赤土層	
	92	SH01	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.19	2.20	1.27	7.82	赤白(浅黄褐色)	
	93	A-0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.80	2.10	1.30	10.09	浅黄褐色(白土層)	
	94	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.80	2.10	1.30	10.27	赤白(土器)白土層	
	95	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	1.80	1.70	1.00	4.81	赤白(土器)白土層	
	96	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.20	1.80	1.20	7.28	赤白(土器)白土層	
	97	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.00	1.80	1.30	8.18	赤白(土層)	
	98	SH0	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.44	1.85	1.27	6.89	赤白(土器)白土層	
	99	H-1	丸形	変形赤土	磁器	磁器	2.25	2.30	1.21	9.82	浅黄褐色(浅黄褐色)	

表7 石製品属性表 (石材の記号は、表12の脚注凡例参照)

国産	番号	ID(O)	grnd/産地	形状	分類	11月 真(1/2期)	13月率	産出 額(1/2期)	産出率	部高 厚(1期)	重量	備	単位	石種	組合	組合名	備考
19	119	31	F-0	石製	天然			26	0.31		2672.9	○	kg	Pa-1			
		34	G-1	石製	天然	30	0.13				666.6			Pa-1			異行
		35	G-1	石製	天然			20	0.26		205.2			Pa-1			
		36	SK12	石製	天然			11	0.26		369.1			Pa-2			
		37	F-1	石製	天然	30	0.06				391.2	○		Pa-2			
		38	G-0	石製	天然	30	0.06			11	1461.1			Pa-2			
		39	G-0	石製	天然						4151.1			Pa-2			
		40	SK18A	石製	天然						246.3			Pa-2			
		41	E-1	石製	天然						115.8			Pa-2			
		42	E-1	石製	天然						165.4			Pa-2			
		43	E-1	石製	天然	24	0.06				314.3			Pa-2			
		44	G-0	石製	天然						56.1			Pa-2			
		45	G-0	石製	天然						548.8			Pa-2			
		46	SK12	石製	天然						648.8			Pa-2			
		47	SK18A	石製	天然						356.1			Pa-2			
		48	SK18A	石製	天然						615.0			Pa-2			
		49	E-1	石製	天然	30	0.11				354.2			Pa-1			
		50	E-1	石製	天然						215.1			Pa-1			
		51	SK12	石製	天然						195.1			Pa-2			
		52	F-1	石製	天然						339.8			Pa-2			異行
		53	SK21	石製	天然						154.8			Pa-2			
		54	SK18A	石製	天然						413.7			Pa-2			
		55	SK18A	石製	天然						238.1			Pa-2			
		56	SK17	石製	天然	36	0.30		20	0.30	15.3	○	kg	Pa-2			
		57	SK11B	石製	天然	43	0.27		13.8	0.20	2300.1	○	kg	Pa-2			
		58	SK10	石製	天然	21	0.11				85.4			Pa-2			
		59	F-0	石製	天然						74.2			Pa-2			
19	121	11	F-1	石製	天然	36		0.8		11.5	699.2	○	kg	Pa-2			
		12	SK13	石製	天然						301.2	○	kg	Pa-2			
		13	SK13	石製	天然						218.8	○	kg	Pa-2			
		14	SK09	石製	天然						199.3			Pa-2			
		15	F-1	石製	天然						96.2			Pa-2			
		16	F-1	石製	天然						126.0			Pa-2			
		17	G-1	石製	天然						115.4	○	kg	Pa-2			
		18	G-1	石製	天然						109.0	○	kg	Pa-2			
		19	SK13	石製	天然						224.6	○	kg	Pa-2			
		20	B-1	石製	天然						83.1	○	kg	Pa-2			
19	122	29	SK17	石製	天然						200.0			Pa-2			○
		30	SK17	石製	天然						131.5			Pa-2			○
		31	SK12	石製	天然						83.1	○	kg	Pa-2			
		32	G-1	石製	天然						32.2			Pa-2			
		33	G-0	石製	天然						28.5			Pa-2			
19	124	17	B-1	石製	天然						271.4			Pa-2			
		18	SK11	石製	天然						195.1	○	kg	Pa-2			
		19	F-1	石製	天然						28.4			Pa-2			
		20	F-1	石製	天然						109.5	○	kg	Pa-2			
		21	F-1	石製	天然						69.6	○	kg	Pa-2			
		22	B-1	石製	天然						17.8			Pa-2			
		23	B-0	石製	天然						18.0	○	kg	Pa-2			
		24	B-0	石製	天然						22.6	○	kg	Pa-2			
		25	B-0	石製	天然						108.4	○	kg	Pa-2			
		26	B-0	石製	天然						217.5	○	kg	Pa-2			
		27	B-0	石製	天然						901.4	○	kg	Pa-2			
		28	B-0	石製	天然						11.1	○	kg	Pa-2			
		29	B-0	石製	天然						95.2			Pa-2			
20	127	29	E-1	石製	天然	30	0.53				8.3	○	kg	Pa-2			
		30	E-1	石製	天然	30	0.33				20.1	○	kg	Pa-2			
		31	SK11	石製	天然	26	0.19				11.7	○	kg	Pa-1			
		32	SK10B	石製	天然	26	0.17				10.8	○	kg	Pa-1			
		33	SK13	石製	天然	26	0.24				3.7	○	kg	Pa-1			
20	128	52	SK13	石製	天然	30	0.24				3.7	○	kg	Pa-1			
20	129	08	SK18A	石製	天然	8.5		4			0.8	○	kg	Pa-1			
		09	SK17	石製	天然	11.8		8.8			1070.0			Pa-1			
		10	SK17	石製	天然	9.6		7.6			6.0	○	kg	Pa-1			
		11	SK13	石製	天然	6.2		5.8			3.6	○	kg	Pa-1			
		12	SK11	石製	天然	8.2		7.1			4.3	○	kg	Pa-1			
		13	G-0	石製	天然	6.5		6.0			3.3	○	kg	Pa-1			
		14	G-0	石製	天然	9.2		4			1.6	○	kg	Pa-1			
		15	G-0	石製	天然	4.9		4.8			0.9	○	kg	Pa-1			
		16	SK12	石製	天然	6.2		5.8			3.1	○	kg	Pa-1			
		17	SK12	石製	天然	6.0		5.4			1.6	○	kg	Pa-1			
		18	B-1	石製	天然	9.2		8.2			3.0	○	kg	Pa-1			
		19	G-0	石製	天然	7.6		7.8			2.4	○	kg	Pa-1			
		20	F-1	石製	天然	5.4		5			1.4	○	kg	Pa-1			
		21	SK09	石製	天然	5.6		5.3			1.4	○	kg	Pa-1			
		22	G-1	石製	天然	3.8		3.2			2.2	○	kg	Pa-1			
		23	B-1	石製	天然	5.8		5.6			3.1	○	kg	Pa-1			
		24	B-1	石製	天然	7.0		6.8			3.7	○	kg	Pa-1			
		25	G-1	石製	天然	6.4		5.5			6.8	○	kg	Pa-1			
		26	SK11	石製	天然	6.7		3			1.4	○	kg	Pa-1			
20	130	79	F-1	石製	天然	6.2		6.8			1.1	○	kg	Pa-1			
		78	G-0	石製	天然	5.7		5.8			2.2	○	kg	Pa-1			
21	134	3	SK21	石製	天然	16.0		12.3			11.9	○	kg	Pa-1			
21	133	1	SK22C	石製	天然	25		20			6.8	○	kg	Pa-1			
		9	B-1	石製	天然	15.5		11.8			5.5	○	kg	Pa-2			
		10	SK07	石製	天然	11.2		6.2			4.4	○	kg	Pa-2			
21	135	300	SK12	石製	天然	13.7		11.8			1.3	○	kg	Pa-2			
		1	SK030	石製	天然	20.5		15.5			6.4	○	kg	Pa-2			
		2	SK030	石製	天然	20.0		15.8			7.5	○	kg	Pa-2			
		3	SK08	石製	天然	15.6		12.4			11.0	○	kg	Pa-2			
		4	SK12	石製	天然	12.6		11.4			6.7	○	kg	Pa-2			
		5	SK08	石製	天然	18.3		16			13.1	○	kg	Pa-2			
		6	SK030	石製	天然	11.7		11.2			11.0	○	kg	Pa-2			
21	136	63	SK01	石製	天然	16.8		9.8			4.2	○	kg	Pa-1			

表8 銭貨属性表

国産	番号	grnd/産地	形状	名称	重量	初年	時代	素材	縦径	横径	孔径	孔深	重量	備考
22	141	SK18A	鉄製	明治通貨	621	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
22	142	SK18A	鉄製	明治通貨	621	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
22	143	G-1	鉄製	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		定額交換
22	144	G-1	鉄製	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
22	145	G-1	鉄製	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
22	146	G-1	鉄製	明治通貨	1017	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.65	0.65	2.2	
22	147	G-0	鉄製	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
		148	G-0	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
		149	G-0	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
		150	G-0	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
		151	G-0	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
		152	G-0	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
		153	G-0	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
		154	G-0	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
		155	G-0	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
		156	G-0	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
		157	G-0	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70	1.6		
		158	G-0	明治通貨	1000	明治	明治	鋼	25.0	25.0	0.70			

表10 総合関連遺物メタル品別量分布 (詳細遺物、羽口、伊原は除く)

(1) 遺構出土遺物

メタル品別	S01	S02	S03A	S03B	S04	S05	S06	S07	S08	S09	S10	S11	S12	S13	S14	S15	S16
計	454	117	656											112			
銅	154	34	188											12			
鉄	176	52	228											20			
銅・鉄	1,261	1,262	2,523	667	667	1,334	318		318					208.5	1,601.1	295.1	
銀	2,914	2,914	5,828	1,148	1,148	2,296	572		572					121.2	4,674.8	852.8	
金	6,022	8,318	14,340	2,938	2,938	5,876	1,469		1,469					291.1	10,907.1	2,072.9	
計	10,751	11,621	22,372	5,782	5,782	11,564	2,937		2,937					545.2	19,183.1	3,621.8	21.9

メタル品別	S17	S18	S19	S20	S21	S22	S23	S24	S25	S26	S27	S28	S29	S30	S31	S32	S33
計																	
銅																	
鉄																	
銅・鉄																	
銀																	
金																	
計																	

(2) 包含層出土遺物

メタル品別	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	A11	A12	A13	A14	A15	A16	A17
計																	
銅																	
鉄																	
銅・鉄																	
銀																	
金																	
計																	

国名	番号	(JIS) 種名No.	種名	種目	原JIS	漢字名	科	属	種	学名	数量	採集地	入手年月	採集者	学名(漢)	科(漢)	属(漢)
	594	154	SB-05			植物の種子	7.5	11.6	4.4	2212	5						
	595	155	SB-05			植物の種子	9.0	12.4	4.4	2212	5						
	596	156	SB-05			植物の種子	8.5	7.9	4.9	1310	5						
	597	157	SB-05			植物の種子	8.5	6.0	3.6	282	4						
	598	158	SB-05			植物の種子	8.5	7.9	4.9	981	5						
	599	159	SB-05			植物の種子	7.0	10.6	3.6	981	4						
	600	160	SB-05			植物の種子	5.0	11.8	3.8	56	3						
	601	161	SB-05			植物の種子	4.0	12.1	2.1	77	5						
	602	162	SB-05			植物の種子	7.0	6.8	4.8	186	4						
	603	163	SB-05			植物の種子	7.0	6.8	4.8	186	4						
	604	164	SB-05			植物の種子	6.0	1.2	1.2	8.0	4						
	605	165	SB-05			植物の種子	9.0	12.0	3.5	4440	5						
	606	166	SB-05			植物の種子	8.0	14.0	3.0	1840	4						
	607	167	SB-05			植物の種子	4.7	6.1	2.5	900	5						
	608	168	SB-05			植物の種子	4.6	7.9	3.0	985	4						
	609	169	SB-05			植物の種子	4.0	7.9	3.0	985	4						
	610	170	SB-05			植物の種子	6.0	6.5	2.5	101	4						
	611	171	SB-05			植物の種子	3.1	4.1	2.6	212	4						
	612	172	SB-05			植物の種子	4.5	1.1	1.0	7.0	5						
	613	173	SB-05			植物の種子	4.6	1.8	4.8	83	6						
	614	174	SB-05			植物の種子	4.6	3.1	2.4	43	4						
	615	175	SB-05			植物の種子	4.5	1.1	1.0	7.0	5						
	616	176	SB-05			植物の種子	2.8	1.0	0.9	2.5	2						
	617	177	SB-05			植物の種子	8.0	7.1	7.0	208	5						
	618	178	SB-05			植物の種子	8.0	11.0	5.2	422	5						
	619	179	SB-05			植物の種子	8.5	9.4	5.5	294	4						
	620	180	SB-05			植物の種子	3.0	3.2	3.0	284	4						
	621	181	SB-05			植物の種子	8.0	10.2	4.8	2510	4						
	622	182	SB-05			植物の種子	8.0	8.5	4.4	298	2						
	623	183	SB-05			植物の種子	8.0	8.7	4.4	1310	4						
	624	184	SB-05			植物の種子	5.5	13.2	2.2	35	2						
	625	185	SB-05			植物の種子	4.7	1.5	1.2	4.0	3						
	626	186	SB-05			植物の種子	3.0	6.2	2.8	612	3						
	627	187	SB-05			植物の種子	8.5	7.4	8.5	2748	4						
	628	188	SB-05			植物の種子	5.8	6.4	4.5	1385	4						
	629	189	SB-05			植物の種子	6.0	7.8	2.8	129	7						
	630	190	SB-05			植物の種子	4.5	6.2	2.9	29	4						
	631	191	SB-05			植物の種子	11.4	11.1	6.0	657	3						
	632	192	SB-05			植物の種子	10.1	10.0	6.0	4103	3						
	633	193	SB-05			植物の種子	8.0	8.1	6.0	1928	6						
	634	194	SB-05			植物の種子	5.7	7.9	2.6	987	3						
	635	195	SB-05			植物の種子	7.4	8.3	3.3	1124	4						
	636	196	SB-05			植物の種子	7.4	8.3	3.3	1124	4						
	637	197	SB-12			植物の種子	7.0	7.4	4.3	178	3						
	638	198	SB-14			植物の種子	3.0	7.2	3.6	285	6						
	639	199	SB-14			植物の種子	4.2	3.8	2.7	128	4						
	640	200	SB-12			植物の種子	5.2	5.7	2.0	965	3						
	641	201	SB-13			植物の種子	12.0	14.0	6.0	6560	6						
	642	202	SB-13			植物の種子	8.0	9.2	6.0	294	8						
	643	203	SB-13			植物の種子	8.2	9.4	4.5	286	7						
	644	204	SB-13			植物の種子	8.0	8.8	4.8	284	8						
	645	205	SB-13			植物の種子	7.1	8.1	3.1	1293	5						
	646	206	SB-13			植物の種子	8.5	10.0	4.1	201	8						
	647	207	SB-13			植物の種子	7.4	6.6	4.6	117	7						
	648	208	SB-13			植物の種子	7.1	8.1	3.1	1293	5						
	649	209	SB-13			植物の種子	7.1	8.1	3.1	1293	5						
	650	210	SB-13			植物の種子	5.9	7.9	3.4	1110	6						
	651	211	SB-13			植物の種子	4.4	11.4	3.4	114	4						
	652	212	SB-13			植物の種子	4.2	4.8	1.8	124	5						
	653	213	SB-13			植物の種子	4.7	5.3	2.8	78	4						
	654	214	SB-13			植物の種子	8.0	8.8	3.8	88	8						
	655	215	SB-13			植物の種子	4.3	9.2	3.0	403	7						
	656	216	SB-13			植物の種子	3.6	4.7	2.5	247	7						
	657	217	SB-13			植物の種子	6.5	7.7	4.6	410	6						
	658	218	SB-13			植物の種子	5.2	4.4	2.4	378	6						
	659	219	SB-13			植物の種子	4.7	5.5	1.5	382	6						
	660	220	SB-13			植物の種子	4.8	5.1	2.1	403	6						
	661	221	SB-13			植物の種子	4.8	6.4	2.7	422	6						
	662	222	SB-13			植物の種子	4.5	4.0	2.6	480	5						
	663	223	SB-13			植物の種子	4.6	5.4	3.1	565	5						
	664	224	SB-13			植物の種子	4.8	3.5	3.1	431	6						
	665	225	SB-13			植物の種子	4.5	5.5	3.7	584	5						
	666	226	SB-13			植物の種子	3.5	2.5	2.5	223	4						
	667	227	SB-13			植物の種子	4.1	3.5	3.3	310	4						
	668	228	SB-13			植物の種子	6.1	4.3	2.4	442	5						
	669	229	SB-13			植物の種子	4.0	6.1	2.5	261	3						
	670	230	SB-13			植物の種子	11.0	8.8	7.0	484	3						
	671	231	SB-13			植物の種子	15.5	14.8	6.0	1,144	8						
	672	232	SB-13			植物の種子	7.8	12.7	5.8	604	4						
	673	233	SB-13			植物の種子	8.4	10.0	4.8	2918	8						
	674	234	SB-13			植物の種子	10.0	10.7	5.2	3332	6						
	675	235	SB-13			植物の種子	7.4	8.5	4.4	2248	8						
	676	236	SB-13			植物の種子	5.2	6.6	2.5	987	4						
	677	237	SB-13			植物の種子	5.0	6.6	2.4	666	5						
	678	238	SB-13			植物の種子	5.2	6.1	2.1	643	5						
	679	239	SB-13			植物の種子	3.9	3.0	2.7	217	5						
	680	240	SB-13			植物の種子	4.3	3.0	2.9	484	6						
	681	241	SB-13			植物の種子	3.1	2.5	2.5	132	3						
	682	242	SB-13			植物の種子	3.8	7.9	1.5	188	2						
	683	243	SB-13			植物の種子	4.0	3.7	1.8	224	6						
	684	244	SB-14			植物の種子	7.9	7.6	4.8	287	4						
	685	245	SB-14			植物の種子	8.0	9.2	4.4	2084	4						
	686	246	SB-14			植物の種子	5.7	4.2	3.0	648	4						
	687	247	SB-14			植物の種子	8.5	8.3	3.9	774	4						
	688	248	SB-14			植物の種子	6.1	4.0	2.5	383	4						
	689	249	SB-14			植物の種子	6.7	4.8	3.4	522	4						
	690	250	SB-14			植物の種子	4.6	1.4	1.3	209	4						
	691	251	SB-14			植物の種子	12.0	10.9	4.5	2657	6						
	692	252	SB-16			植物の種子	4.5	4.2	4.2	128	3						
	693	253	SB-17			植物の種子	8.5	8.4	3.9	284	8						
	694	254	SB-17			植物の種子	7.7	8.3	4.7	2107	5						
	695	255	SB-17			植物の種子	6.1	6.2	2.9	1012	5						
	696	256	SB-17			植物の種子	4.0	5.0	3.1	436	6						
	697	257	SB-17			植物の種子	3.0	3.7	3.0	86	4						
	698	258	SB-18A			植物の種子	6.8	6.0	4.5	1124	6						
	699	259	SB-18A			植物の種子	8.0	8.0	4.5	3983	4						
	700	260	SB-18A			植物の種子	4.0	6.0	4.2	1348	6						
	701	261	SB-18A			植物の種子	4.6	4.6	2.9	278	4						
	702	262	SB-18A														

国名	番号	OSN	観測No	観測時刻	観測地点	観測者	経度	緯度	高度	観測日時	観測者	2次宇宙	赤緯(度)	赤経(度)
	232	226	SR21		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	4.2	4.7	2.0	23.2	4	女子	23.2	101.0
	231	227	SR21		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	4.2	4.7	2.0	23.2	4	女子	23.2	101.0
	231	228	SR22a		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	8.3	8.1	4.9	23.0	2	女子	23.0	101.0
	231	229	SR22b		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	3.5	4.7	1.5	23.1	2	女子	23.1	101.0
	231	230	SR22c		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	4.9	4.0	2.0	23.0	2	女子	23.0	101.0
	236	231	SR23		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	4.7	4.6	3.5	23.0	5	男子	23.0	101.0
	237	232	SP21		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	4.1	3.5	2.5	23.0	5	女子	23.0	101.0
	239	233	SP22		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	3.8	3.9	2.0	23.1	5	女子	23.1	101.0
	330	234	SP23		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	11.2	12.3	6.1	23.1	4	女子	23.1	101.0
	334	235	SP24		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	5.0	6.7	3.0	23.0	5	女子	23.0	101.0
	441	236	SP25		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	4.9	3.7	4.0	23.2	5	女子	23.2	101.0
	442	237	SP26		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	4.4	4.8	3.5	23.0	5	女子	23.0	101.0
	443	238	SP27		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	4.0	4.2	2.0	23.2	4	女子	23.2	101.0
	444	239	SP28		熊本県出水市・熊本小	熊本県出水市・熊本小	3.6	4.4	1.5	23.0	5	女子	23.0	101.0
23	130	111	243	A-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	6.7	5.8	3.0	23.4	10	男子	23.4	101.0
		838	246	A-0	気象観測	中津(観測所)	3.2	3.8	2.0	17.4	4	男子	17.4	101.0
		717	252	B-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	3.5	3.6	2.4	22.4	6	男子	22.4	101.0
		639	259	B-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	11.2	13.3	6.0	1.3772	7	男子	1.3772	101.0
		794	262	B-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	8.4	10.1	3.4	26.4	8	男子	26.4	101.0
		111	264	B-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	5.1	3.8	2.1	11.6	6	男子	11.6	101.0
24	181	613	235	B-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	2.9	3.4	1.6	23.8	4	男子	23.8	101.0
		810	240	C-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	12.4	12.0	3.6	19.0	7	観測所(△)	19.0	101.0
		798	250	C-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	8.3	11.0	6.6	23.3	9	観測所(△)	23.3	101.0
		829	276	C-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	4.9	1.5	1.1	8.2	3	男子	8.2	101.0
		830	279	C-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	3.5	1.1	0.8	2.4	4	観測所(△)	2.4	101.0
		839	286	C-1	気象観測	中津(観測所)	4.3	4.6	2.8	43.0	7	男子	43.0	101.0
		727	265	F-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	5.9	4.8	3.0	26.7	7	観測所(△)	26.7	101.0
		799	271	F-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	3.2	3.4	2.4	19.8	7	観測所(△)	19.8	101.0
		816	274	F-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	3.5	2.7	1.8	23.8	6	男子	23.8	101.0
23	185	798	149	F-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	8.8	8.6	3.7	33.4	10	男子	33.4	101.0
		802	251	F-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	10.1	9.5	4.6	43.8	9	男子	43.8	101.0
		799	264	F-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	8.4	10.5	6.0	28.4	8	男子	28.4	101.0
		783	236	F-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	5.5	7.4	2.9	13.6	8	男子	13.6	101.0
		724	226	F-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	4.6	4.0	2.0	21.7	5	女子	21.7	101.0
		751	201	F-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	4.3	3.5	2.8	26.6	5	女子	26.6	101.0
		745	201	F-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	5.2	4.4	4.0	22.8	5	女子	22.8	101.0
		747	202	F-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	6.0	4.4	3.4	21.1	5	女子	21.1	101.0
		759	207	F-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	3.6	3.9	2.3	28.2	6	観測所(△)	28.2	101.0
		748	209	F-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	3.5	2.0	1.8	13.6	5	女子	13.6	101.0
		811	272	F-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	4.9	3.1	2.0	25.5	5	男子	25.5	101.0
		809	273	F-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	3.2	2.3	2.3	22.9	5	男子	22.9	101.0
23	182	812	247	G-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	10.6	11.1	3.1	53.4	8	男子	53.4	101.0
		754	261	G-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	5.2	6.2	2.9	26.6	8	男子	26.6	101.0
		832	277	G-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	4.4	1.2	1.1	6.1	4	男子	6.1	101.0
		833	277	G-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	3.5	1.5	1.4	7.9	6	観測所(△)	7.9	101.0
		831	280	G-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	3.1	1.5	1.6	7.0	7	観測所(△)	7.0	101.0
		816	282	G-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	15.4	3.3	2.8	13.2	7	男子	13.2	101.0
22	133	836	285	G-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	3.9	3.9	2.0	23.0	7	観測所(△)	23.0	101.0
		805	253	G-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	8.1	8.0	3.1	28.1	8	観測所(△)	28.1	101.0
		787	257	H-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	2.5	3.3	3.0	13.4	6	観測所(△)	13.4	101.0
		774	239	H-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	4.4	3.7	2.1	28.3	6	女子	28.3	101.0
		776	266	H-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	4.1	4.0	1.8	27.2	7	観測所(△)	27.2	101.0
		763	270	H-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	4.1	3.1	2.0	14.8	7	男子	14.8	101.0
		835	278	H-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	2.8	1.5	0.7	1.4	4	観測所(△)	1.4	101.0
		838	281	H-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	3.5	1.1	1.4	3.7	6	観測所(△)	3.7	101.0
		834	283	H-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	3.9	1.8	1.7	11.1	6	観測所(△)	11.1	101.0
		837	284	H-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	5.5	2.2	1.3	24.1	6	男子	24.1	101.0
		758	255	I-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	6.8	7.8	4.8	18.4	9	男子	18.4	101.0
		799	266	I-0	気象観測	熊本県出水市・熊本小	3.0	1.1	2.1	13.9	6	女子	13.9	101.0
23	188	793	254	I-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	8.5	5.5	3.2	15.8	9	男子	15.8	101.0
		779	264	I-1	気象観測	熊本県出水市・熊本小	5.0	3.8	2.7	29.8	8	男子	29.8	101.0

表12 焼礫集計表

(1) 石材と形状別 数量

石材	円礫	準円礫	角礫	破片	合計
An	8	10		6	24
Bt-1		12	4	11	27
Bt-2	1		3	36	40
Da	7	6		15	28
Gr			1	2	3
Lt	33	8		2	43
Pt-1		1	1		2
Pt-2		3	1	2	6
Rh	2	9	10	10	31
Sn-2	1	1		1	3
合計	52	50	20	85	207

(2) 石材と形状別 被熱赤化ある数量

石材	円礫	準円礫	角礫	破片	合計
An	7	9		6	22
Bt-1		9	2	7	18
Bt-2	0		1	18	19
Da	6	6		14	26
Gr			1	2	3
Lt	29	6		2	37
Pt-1		0	0		0
Pt-2		2	1	0	3
Rh	1	7	10	8	26
Sn-2	1	1		1	3
合計	44	40	15	58	157

★注： 石材記号凡例（表7と共通）

- An：安山岩または中性凝灰岩
- Bt-1：角礫質の凝灰岩、またはこれに類似するもの
- Bt-2：外観はBt-1に似るが、相対的に軽微な質感のもの
- Da：デイサイトまたは弱酸性凝灰岩
- Gr：花崗岩
- Lt：火山礫凝灰岩
- Pt-1：砂礫質で凝結のゆるい印象を受けるやや軽微な質感の凝灰岩
- Pt-2：非常に軽微な質感の凝灰岩
- Rh：流紋岩または酸性凝灰岩
- Sh：頁岩～シルト岩、あるいは粘板岩？
- So-1：細粒砂岩
- So-2：中粒～粗粒砂岩
- Ts：凝灰質砂岩～頁岩

(3) 石材と形状別 重量

石材	円礫	準円礫	角礫	破片	合計
An	1,542.7	6,597.7		513.4	8,653.8
Bt-1		4,299.1	2,041.3	1,715.2	8,055.6
Bt-2	200.0		548.2	2,990.6	3,738.9
Da	1,805.0	15,648.5		2,581.4	20,034.9
Gr			280.9	3,066.3	3,347.2
Lt	14,701.9	2,960.0		905.3	18,567.2
Pt-1		216.2	141.8		358.1
Pt-2		603.4	1,237.4	249.2	2,090.0
Rh	258.7	6,397.9	16,112.5	1,101.7	23,870.8
Sn-2	426.5	227.1		58.2	711.8
合計	18,934.9	36,949.9	20,362.2	13,181.3	89,428.2

(4) 形状別 法量

a 円礫 標本数=52

	長	幅	厚	重
平均	9,173	6,358	3,575	364.13
標準偏差	2,463	2,060	1,260	276.76

b 準円礫 標本数=50

	長	幅	厚	重
平均	10,766	8,200	5,398	739.00
標準偏差	3,949	3,326	2,760	1,204.43

c 角礫 標本数=20

	長	幅	厚	重
平均	11,635	8,765	5,985	1,018.11
標準偏差	5,510	4,187	3,404	1,739.59

d 破片 標本数=85

	長	幅	厚	重
平均	7,209	5,131	3,284	155.07
標準偏差	2,063	1,706	1,448	329.72

結 語

本報告で鍛冶炉関連遺構として報告したのは、越前大甕を埋設した鍛打作業台土台遺構と鍛冶滓集積をさす。前者について甕の破損状況を鍛打作業のための施設としての傍証と考えたわけだが、肝腎の炉床に同定しうる遺構は検出されなかった。SI01とSK08のプランの隙間に検出されたこともあり、遺構の全容はつかめない。

鍛冶関連としてもう一つ、複合ピットも挙げておこう。SK22Cで検出された焼離と凹石の出土状況に限れば、これは埋納行為の反映と考えられ、これらが鍛冶関連遺物とするならば、作業場としては断続的に営まれた可能性が示唆される。すなわち、作業場として機能しない期間の埋納ではないだろうか。

井戸跡について、SE04を除けば土坑の底に結桶を埋設しただけの簡便な構造のようだ。また、SE05の結桶のように抜き取ろうと試みたと見られる破損状況や、湧水土坑SE03の結桶を抜き取ったと見られる2箇所の痕跡は、井戸の移設、あるいは結桶の転用を示唆する。結桶のタガに使われる竹は腐蝕が速いと言われるが、仮に結桶が再利用可能な状態で抜き取られたとすれば、井戸の使用期間は短かったと考えられる。臨時に増設された井戸かもしれない。

出土遺物について年代を測ってみれば、食膳具・調理

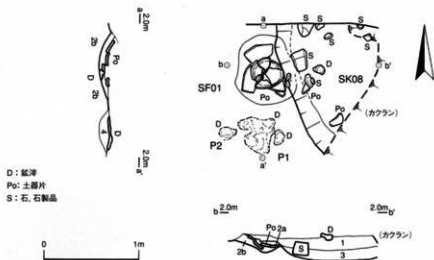
具の類は、陶磁器食膳具を指標としてみれば、ほぼ15世紀代が中心であり、16世紀代の遺物は相対的に稀薄である。16世紀末以降のいわゆる志野や唐津が認められるが、この時期以降の遺物は、包含層下部すなわち掘層層に主体があり、廃棄土坑SK12の志野菊肌が「廃絶時期」の指標となる。

とくに主要な遺構から出土する遺物の年代は15世紀代に偏る傾向が認められるので、遺跡として二時期に区分することが可能であり、前半と後半の区分点は15世紀末～16世紀初頭頃の時期、廃絶時期は16世紀末～17世紀初頭頃の時期である可能性が高い。

ここに文献を援用すれば、15世紀末は、長享の一揆(1488年)以後、本折氏が滅んだとされる時期であり、16世紀中頃には、朝倉義景が加賀へ侵攻し、本折小松城を陥れたとされる(1564年)。16世紀末から17世紀初頭は、柴田勝家らが一向一揆勢を駆逐した時期(1580年)から浅井曜の戦(1600年)の前後、前田利常の小松入城(1640年)までの期間にあたる。少なくとも、この時期を境に「本折」と言う地名が過去のものになったことが史料から読み取れる点は、本遺跡の発掘調査成果と照らしても示唆に富んでいる。

参考文献

- イ 石川県立埋蔵文化財センター 編 (1984) 『普正寺遺跡』
- (財)石川県埋蔵文化財センター 編 (2002) 『金沢市木ノ新保遺跡』
- (財)石川県埋蔵文化財センター 編 (2004) 『小松市幸町遺跡』
- 出光美術館 編 (1994) 『越前古陶とその再現』九右衛門窯の記録
- ウ 上田秀夫 (1982) 「14～16世紀の青磁碗の分類」『貿易陶磁研究』2, 日本貿易陶磁研究会
- オ 岡崎正規 (2003) 「遺跡の土壌学」『環境考古学マニュアル』, 同成社
- カ 垣内光次郎 (1990) 「中世北陸の暖房分化」『石川考古学研究会々誌』33, 石川考古学研究会
- キ 九州近世陶磁学会 編 (2000) 『九州陶磁の編年』
- コ 小松市教育委員会 編 (1992) 『錢堀遺跡』I
- 小松市史編纂委員会 編 (1999) 『新修小松市史』1. 小松城, 小松市
- 小松市史編纂委員会 編 (2000) 『新修小松市史』2. 小松町と安宅町, 小松市
- 小松市史編纂委員会 編 (2002) 『新修小松市史』4. 国府と荘園, 小松市
- ス 鈴木康之 (2003) 「桶・樽の発展と中世社会」『戦国時代の考古学』, 高志書院
- フ 藤田邦夫 (1989) 「中世土器素描—加賀地方の土師器を中心に—」『北陸の考古学』II, 石川考古学研究会
- ヘ 日置 謙 (1923) 『石川県能美郡誌』, 能美郡役所
- ホ 北陸中世土器研究会 編 (1997) 『中・近世の北陸』考古学が語る社会史, 桂書房
- モ 森田 勉 (1982) 「14～16世紀の白磁の型式分類と編年」『貿易陶磁研究』2, 日本貿易陶磁研究会
- ヨ 吉岡康暢 編 (1989) 『珠洲の名陶』, 珠洲市立珠洲焼資料館



(1) SF01 SK08 実測図 S=1:40

土層注

番号: Hue V/C; 色名: 土性: 団粒, 夾雑物: 密度: 備考

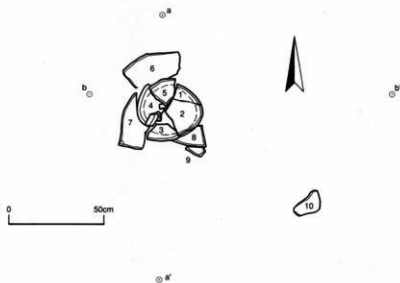
1: 10YR3/2: 黄褐色: 砂壤土; 炭片・焼土粒含む; やや軟; SK08上層

2a: (埋設大甕を被覆する粘土層)

2b: 10YR3/3: 暗褐色: 砂壤土; 粘土塊頗る富む; 炭片・焼土粒混じる; やや軟; SF01

3: 10YR3/3: 暗褐色: 砂壤土; 堆山砂礫含む; やや軟; SK08下層

4: 10YR3/2-3/3: 黄褐色~暗褐色: 砂; 磁洋・陶磁器の富む; やや軟; 鍛冶炉の基構, SF01-P

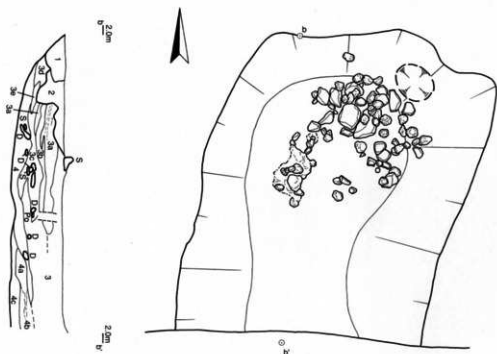


(2) 埋設大甕 接合関係図 S=1:20

*番号は図版17-75上面図に対応



(1) SK12 実測図 S=1:40

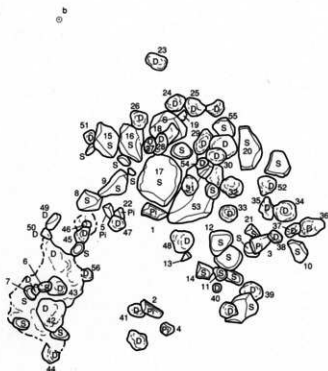


(2) SK13 実測図 S=1:40



土層注 (SK12: 図版3と共通)
 番号: Hue V/C; 色名; 土性; 硬軟; 夾雜物; 密度; 備考
 D: 瓦片
 Po: 土器片
 S: 石、石製品
 II: 10YR2/3; 黒褐色; 砂壤土; 炭片・焼土粒混じる, やや軟; 包含層
 1: 10YR2/2; 黒褐色; 砂壤土; 炭片・焼土粒混じる, やや軟;
 2: 10YR3/2; 黒褐色; 砂壤土; 炭片混じる; 軟;
 3: 10YR3/1; 黒褐色; 砂壤土; 焼土粒混じる; 軟;

土層注 (SK13: 図版3と共通)
 番号: Hue V/C; 色名; 土性; 硬軟; 夾雜物; 密度; 備考
 1: 10YR3/2; 黒褐色; 砂壤土; 炭片混じる, やや軟; 埋乱層
 2: 10YR3/2; 黒褐色; 砂壤土; 炭片混じる, 焼土塊あり; やや軟; 埋乱層
 3: 10YR3/1~4/2; 黒褐色~灰黄褐色; 砂壤土~砂; 炭片混じる; ばらばら瓦片状
 3a: 10YR5/3; 灰黄褐色; 砂; 黒褐色砂壤土混含む; やや軟; 所々に重層が見える
 3b: 10YR4/2; 灰黄褐色; 砂壤土; 炭片混じる, 褐色砂斑(葉状?)含む; やや軟~軟;
 3c: 10YR3/1~4/1; 黒褐色~褐色; 砂壤土~砂; 炭片混じる; 軟; 瓦状~葉状
 3d: 10YR3/2; 黒褐色; 砂壤土; 炭片混じる; 堅~やや軟;
 3e: 10YR3/3; 暗褐色; 砂; 軟; 焼跡の集積?
 4: 10YR2/2~3/1; 黒褐色; 砂混焼土; 炭片混じる; 粘; 下層
 4a: 10YR4/3~5/2; 灰黄褐色~灰黄褐色; 砂; 軟; ばらばら瓦片, 下層
 4b: 10YR4/2; 灰黄褐色; 砂壤土; 焼土粒混じる~含む; やや軟; 下層
 4c: 10YR3/2; 黒褐色; 砂壤土; 焼土粒混じる; 軟; 下層

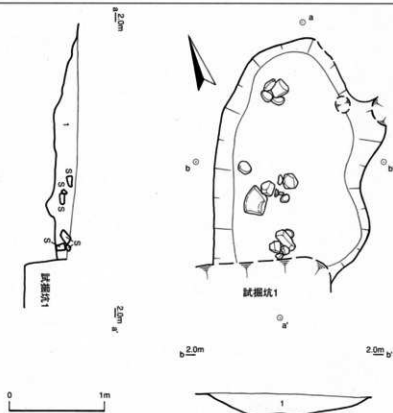


D: 磁片
 P: 穿孔片
 S: 石、石製品

0 50cm

⊙ b

SK13 下層遺物取り下げ番号 S=1:20



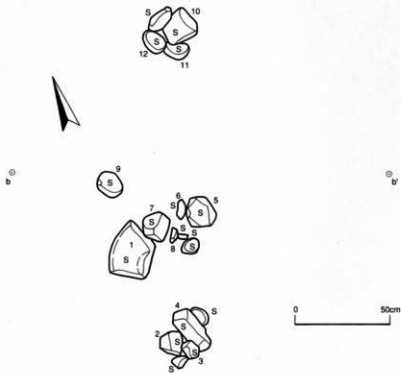
(1) SK17 実測図 S=1:40

S:石製品

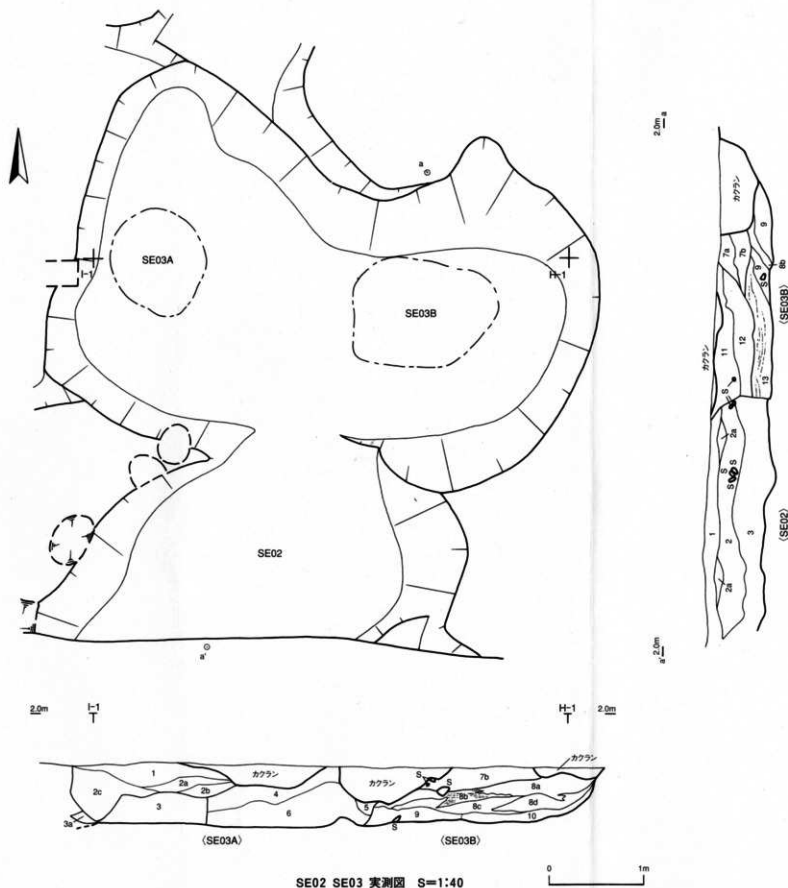
土層注 (SK17)

番号: Hue V/C; 色名; 土性; 斑紋; 支障物; 密度; 備考

1: 10YR2/2-3/2; 黄褐色; 砂壤土; 炭片・炭土粒混じり; 壁-やや軟; 宮食器からの遺移層



(2) SK17 下層遺物取り下げ番号 S=1:20



S:石 石製品

土層注 (SE02)

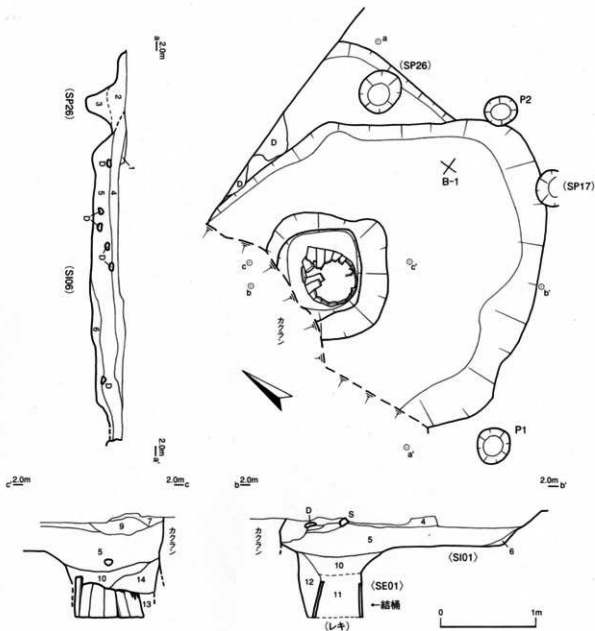
番号: Hue V/C: 色名: 土性: 団粒, 夾雜物: 密度: 備考

- 1: 10YR3/2-3/3: 黒褐色-暗褐色: 砂壤土: 堆山砂礫含む; やや軟;
- 2: 10YR3/3-4/3: 暗褐色-1.0: 黄褐色: 砂壤土: 堆山砂礫状に含む; やや軟-軟: 裏層はほぼ水平
- 2a: 10YR3/2-4/2: 黒褐色-1.0: 黄褐色: 砂: 堆山砂礫含む; やや軟;
- 3: 10YR3/1-3/2: 黒褐色: 砂壤土: 堆山砂礫あり; 軟: いくぶん裏層部, 砂・泥が層間に溜積

土層注 (SE03)

番号: Hue V/C: 色名: 土性: 団粒, 夾雜物: 密度: 備考

- 1: 10YR3/2: 黒褐色: 砂壤土: 炭片含む; やや軟: SE03A
- 2a: 10YR3/2-3/2: 黒褐色-暗褐色: 砂壤土: 炭片混じり; やや軟: ぼんやり状態: SE03A
- 2b: 10YR3/2: 黒褐色: 砂壤土: 炭片混じり; やや軟: SE03A
- 2c: 10YR4/3: 1.0: 黄褐色: 砂-砂壤土: 黒褐色砂壤土混濁; やや軟: SE03A
- 3: 10YR3/2: 黒褐色: 砂壤土: 堆山砂礫含む; 軟-硬: SE03A
- 3a: 10YR4/3-5/4: 1.0: 黄褐色: 砂; 軟: ほぼ堆山砂, 湧水層付近のえぐれた層方?
- 4: 10YR3/2-4/2: 黒褐色-1.0: 黄褐色: 砂-砂壤土: 炭粒および機織紐の集積あり; やや軟: SE03A
- 5: 10YR3/2: 黒褐色: 砂壤土: 灰青褐色砂礫含む; 硬: SE03A
- 6: 10YR3/2: 灰青褐色: 砂: 黒褐色泥濁含む; 反白色砂混じり; 軟: SE03A
- 7a: 10YR3/2: 黒褐色: 砂-砂壤土: 炭片・焼土粒あり, 堆山砂礫含む; やや軟: SE03B
- 7b: 10YR4/2: 灰青褐色: 砂-砂壤土: 炭片・焼土粒あり, 堆山砂礫含む, 機織紐の集積あり; やや軟: SE03B
- 8a: 10YR3/2: 黒褐色: 砂壤土: 炭粒混じり; 軟: SE03B
- 8b: 10YR3/3-7/1: 1.0: 黄褐色-灰白色: 砂; 黒褐色砂壤土層状に含む; 軟: 斜行裏層, SE03B
- 8c: 10YR3/2-4/2: 黒褐色-1.0: 黄褐色: 砂-砂壤土; 軟: 斜行裏層, SE03B
- 8d: 10YR3/3-7/1: 1.0: 黄褐色-灰白色: 砂; 黒褐色砂壤土層状に含む; 軟: 形状, 部分的に裏層?, SE03B
- 9: 10YR3/2: 黒褐色: 砂壤土: 黒褐色泥濁含む; 硬: SE03B
- 10: 10YR4/2-5/3: 灰青褐色-1.0: 黄褐色: 砂; 黒褐色泥濁含む; 軟: SE03B



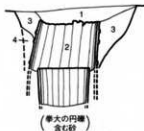
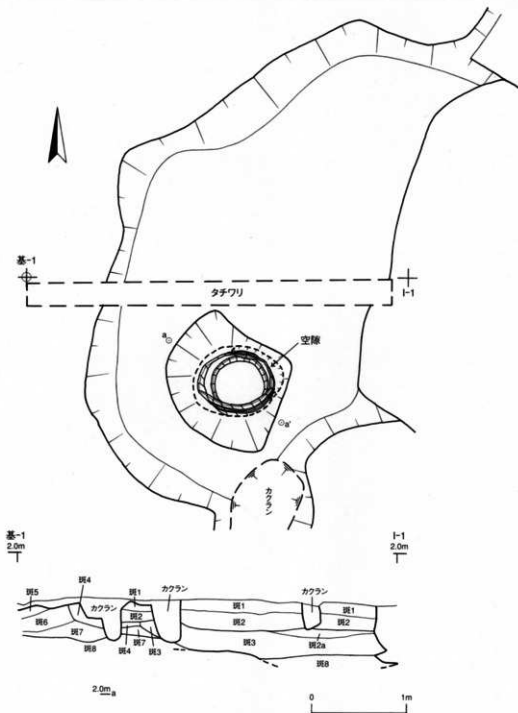
SE(SI)01 実測図 S=1:40

D: 瓦片
S: 石、石製品

土層注 (SE(SI)01)

番号: Hue V/C; 色名; 土性; 瓦紋, 夾雜物, 密度; 備考

- 1: 10YR3/3; 暗褐色; 砂壤土; 炭片混じる, 粘土塊あり; やや軟; SI01上層
- 2: 10YR3/3; 暗褐色; 砂壤土; 炭片・粘土粒混じる; やや軟; 1よりいくぶん還元? SP26
- 3: 10YR3/3; 暗褐色; 砂壤土; 炭片・粘土粒混じる; やや軟; 2よりいくぶん還元? SP26
- 4: 10YR3/3; 暗褐色; 砂壤土; 炭片・粘土粒混じる; やや軟; SI01中層
- 5: 10YR3/2; 黒褐色; 砂壤土; 炭片・粘土粒混じる; 地山砂礫含む; やや軟; SI01下層
- 6: 10YR4/3; にぶい黄褐色; 砂壤土; 地山砂礫含む; やや軟; SI01掘方残土または崩落土
- 7: 10YR3/2; 黒褐色; 砂壤土; 炭片・粘土塊含む; 堅; SI01中層炭ダマリ
- 8: 10YR3/3; 暗褐色; 砂壤土; 炭片含む; 堅; SI01中層炭ダマリ
- 9: 10YR3/2; 黒褐色; 砂壤土; 炭片混じる; 堅; カーボンで黒ずんだような色調, SI01中層炭ダマリ
- 10: 10YR3/2; 黒褐色; 砂; 炭片・粘土粒混じる; 地山砂礫状に含む, 瓦紋あり; 軟; SE01
- 11: 10YR3/2; 黒褐色; 砂; 炭片・有機物混じる; 軟; いくぶん還元? SE01
- 12: 10YR4/2; 灰黄褐色; 砂; 炭片混じる; 地山砂礫あり; やや軟; 結構外側のウラ込め, SE01
- 13: 10YR4/1; 暗灰色; 砂質粘土; 炭片・粘土塊混じる; 軟; 結構内側の土層
- 14: 10YR4/3-6; にぶい黄褐色~暗黄褐色; 砂; 瓦紋の基盤あり; 軟; 13を覆う地山砂の崩落層

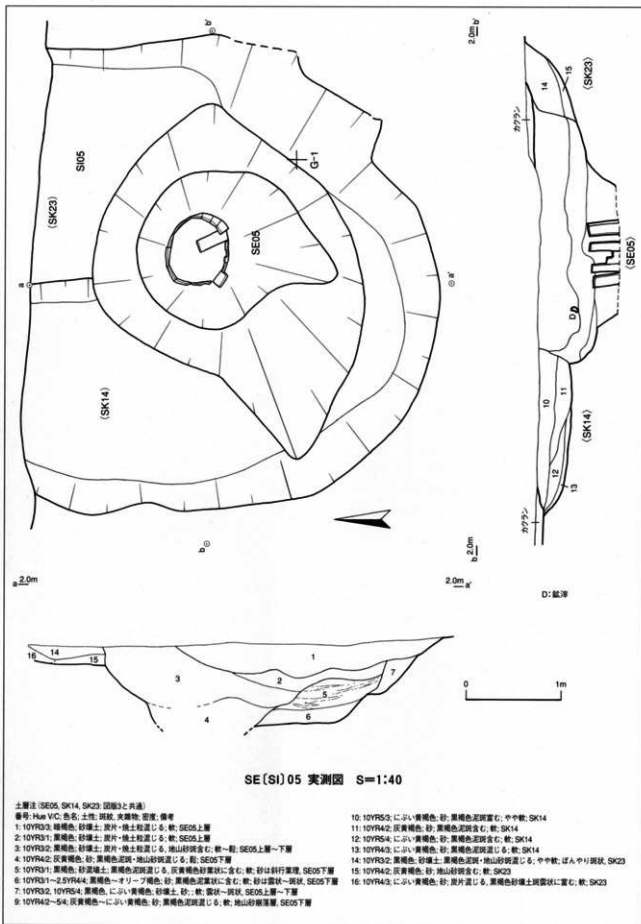


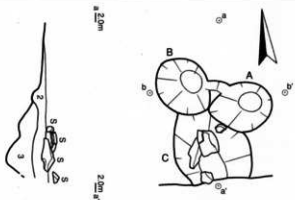
土層注 (SE(SI)04)

番号: Hue V/C; 色名: 土性: 斑紋, 充填物: 密度: 備考

- 斑1: 10YR4/3-5/4; にぶい黄褐色; 砂; 壁: 埋め戻しまたは壁地層, SI04
- 斑2: 10YR4/2-3/3; 灰黄褐色~にぶい黄褐色; 砂; 壁: 埋め戻しまたは壁地層, SI04
- 斑2a: 10YR3/1-4/3; 黄褐色~にぶい黄褐色; 砂~砂壤土; やや軟; 粘床層?, SI04
- 斑3: 10YR5/3-7/2; にぶい黄褐色~にぶい黄褐色; 砂; 壁: 粘床層, SI04
- 斑4: 10YR3/3-4/4; 暗褐色~褐色; 砂; 壁: 粘床層または造成層(周壁?), SI04
- 斑5: 10YR3/3-4/3; 暗褐色~にぶい黄褐色; 炭片混じる; 壁: 造成層(周壁?), SI04
- 斑6: 10YR3/3-4/3; 暗褐色~にぶい黄褐色; 炭片混じる; 壁: 斑5より暗く見える, 造成層(周壁?), SI04
- 斑7: 10YR3/3-4/4; 暗褐色~褐色; 砂; 壁: 斑6より暗く見える, 造成層(周壁?), SI04
- 斑8: 10YR4/2-5/3; 灰黄褐色~にぶい黄褐色; 砂; 黄褐色砂壤土混ざる腐む; やや軟; 盛方残土?, SI04
- 1: 10YR3/3; 暗褐色; 砂壤土; 炭片・炭粒混じる; 軟~やや軟; SE04上部覆土, 斑2の一部?
- 2: 10YR3/1; 黄褐色; 砂壤土; 炭片・加工木片含む; 腐~泥混じる; 軟~やや軟; SE04
- 3: 10YR4/2; 灰黄褐色; 砂壤土; 炭片混じる; やや軟; いくぶん混質; 結構の抜き取りを試みた穴?, 空隙あり, SE04-Ep
- 4: 2.5YR4/2-10YR6/4; 暗灰黄色~にぶい黄褐色; 砂; 黄褐色泥混じる; やや軟~やや硬; 結構外側のウラ込み, SE04

SE(SI)04 実測図 S=1:40





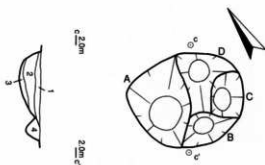
S: 石製品

b— —b'



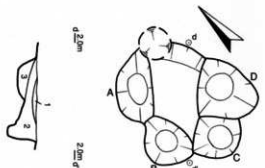
(1) SK11 実測図 S=1:40

土層注 (SK11)
番号: Hum V/C; 色名: 土性: 図説, 支障物: 密度: 備考
1: 10YR3/2, 暗褐色: 砂壤土: 炭片あり, 地山砂混じる; やや軟; SK11A
2: 10YR3/3, 暗褐色: 砂壤土: 炭片・焼土粒混じる; やや軟; SK11B
3: 10YR3/3, 暗褐色: 砂壤土: 地山砂混含む; やや軟; SK11C



(2) SK18 実測図 S=1:40

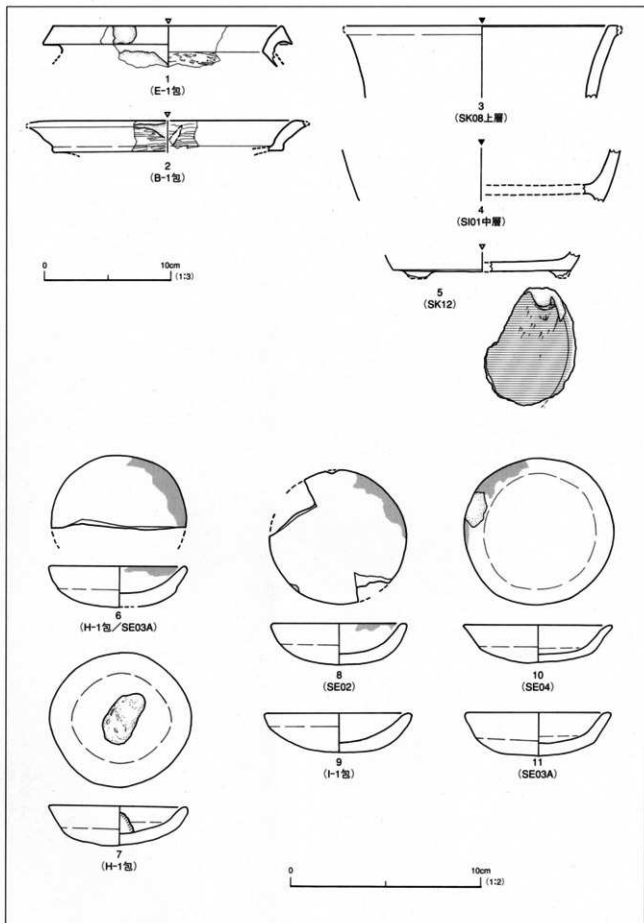
土層注 (SK18)
番号: Hum V/C; 色名: 土性: 図説, 支障物: 密度: 備考
1: 10YR2/3, 暗褐色: 砂壤土: 炭片混じる; やや軟; SK18A
2: 10YR3/3, 暗褐色: 砂壤土: 地山砂混含む; やや軟; SK18A
3: 10YR3/3, 暗褐色: 砂壤土: 地山砂混混る富む; やや軟; 硬方性土, SK18A
4: 10YR2/2, 暗褐色: 砂壤土: 炭片・地山砂混混じる; やや軟; SK18B



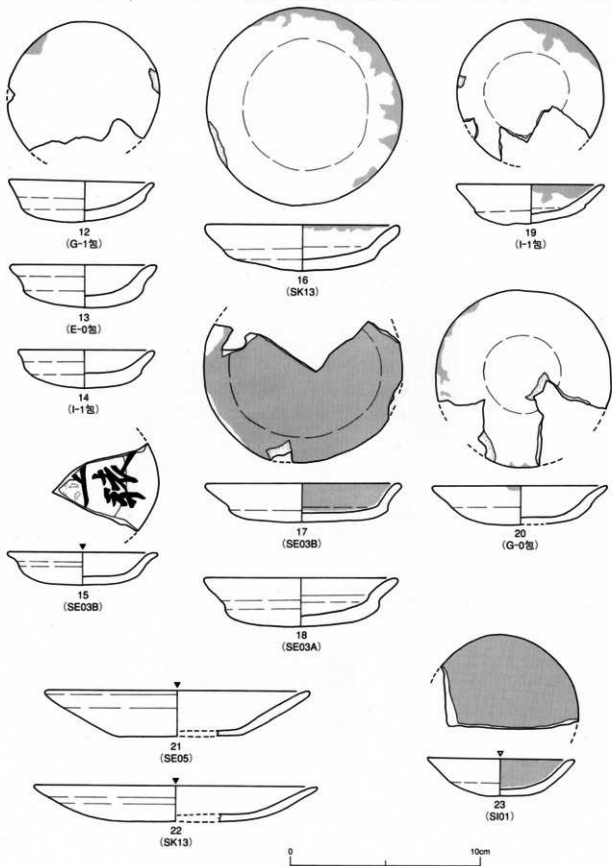
(3) SK22 実測図 S=1:40

土層注 (SK22)
番号: Hum V/C; 色名: 土性: 図説, 支障物: 密度: 備考
1: 10YR2/3, 暗褐色: 砂壤土; 軟;
2: 10YR2/2, 暗褐色: 砂壤土: 炭片混じる; やや軟; SK22B
3: 10YR3/3, 暗褐色: 砂壤土: 炭片混じる; やや軟; SK22A

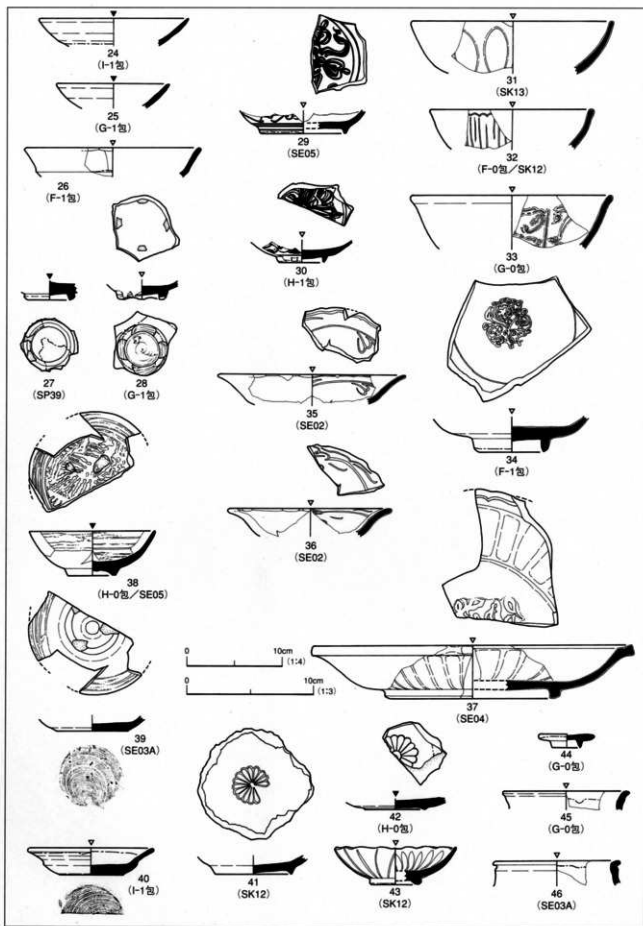




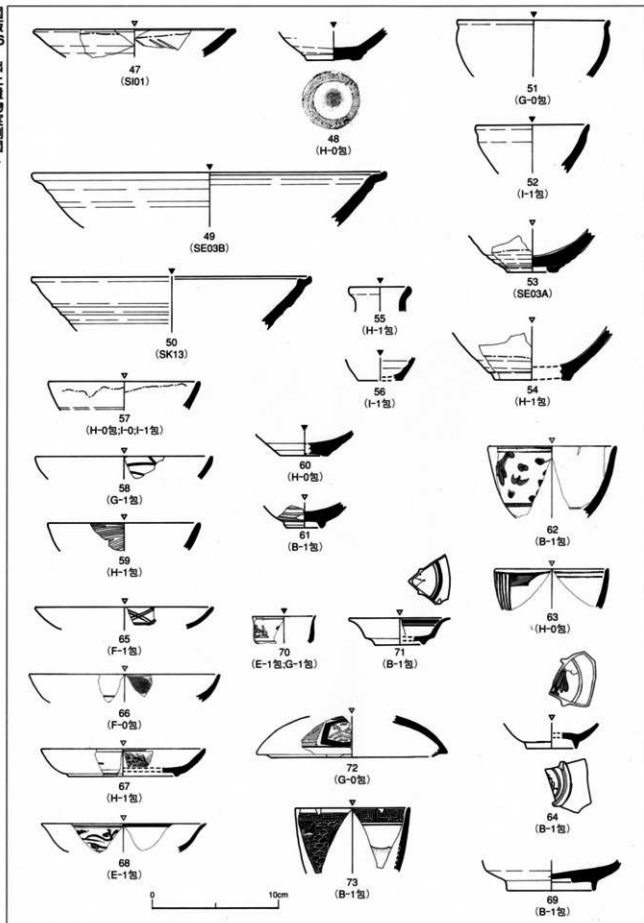
弥生土器(1:2) 瓦器(3~5) S=1:3、土師器皿(6~11) S=1:2



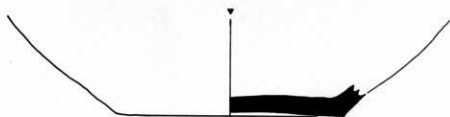
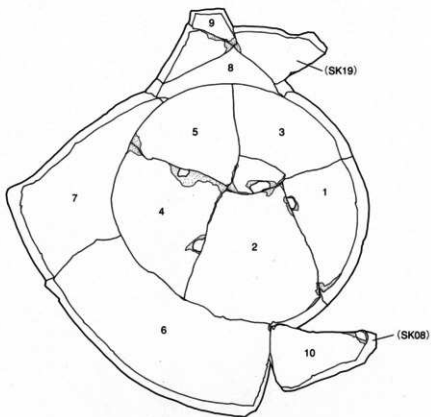
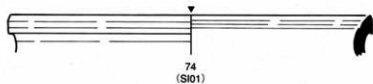
土師器皿(12~23) S=1:2



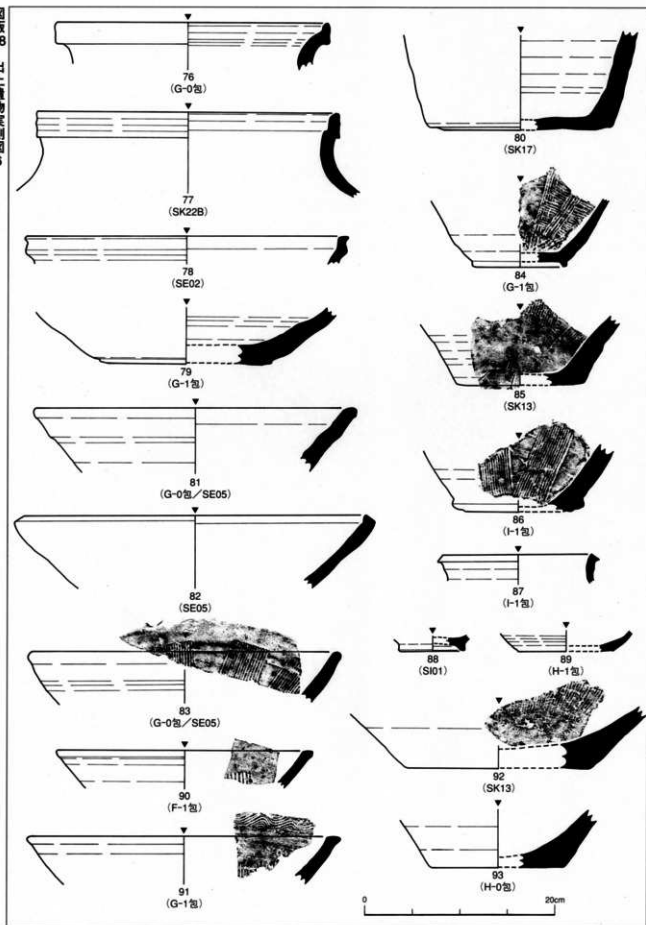
陶磁器 (24~46) S=1:3 (37はS=1:4)



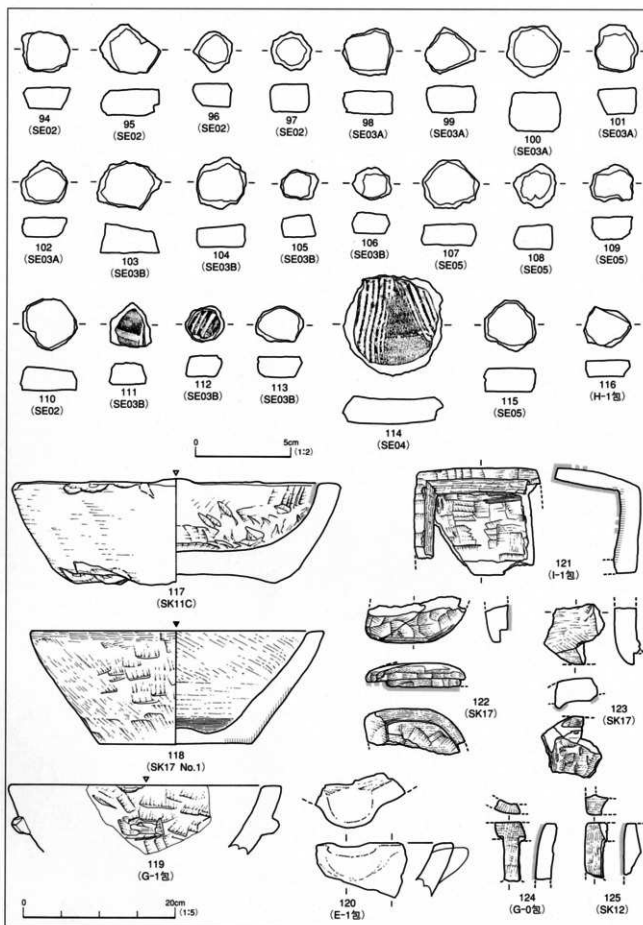
陶磁器 (47~73) S=1:3



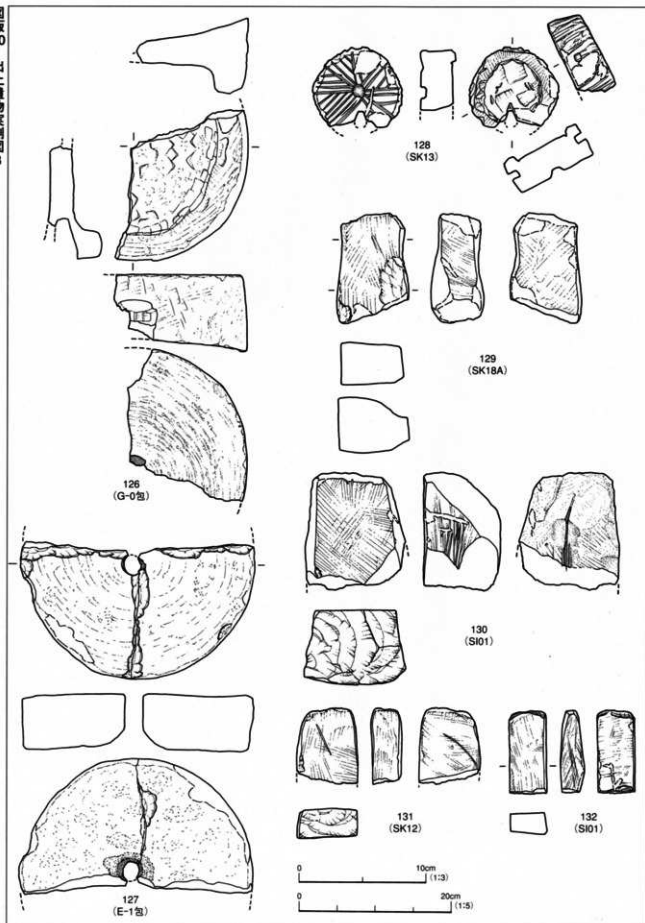
炬器 (74・75) S=1:5



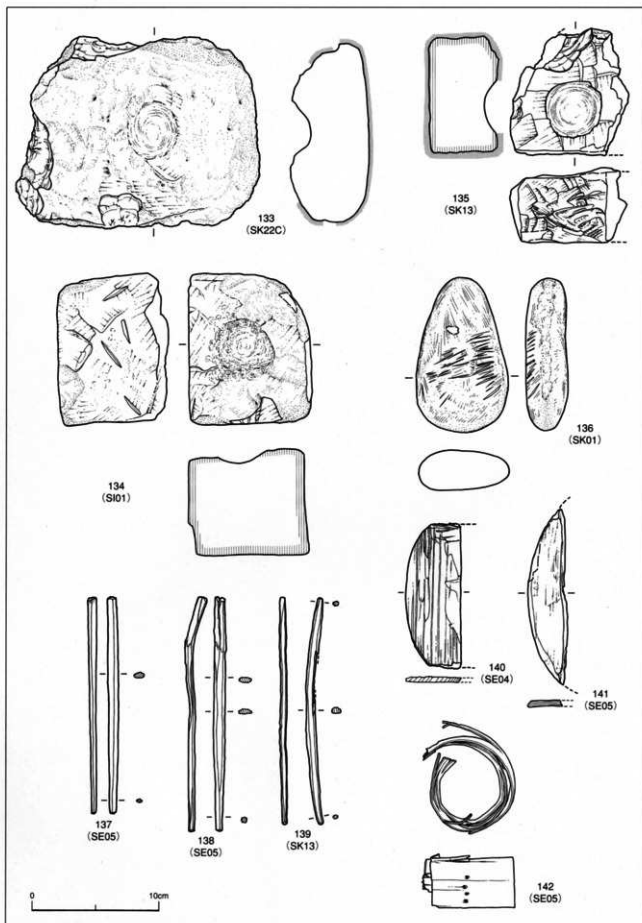
76~93 灰器 S=1:4



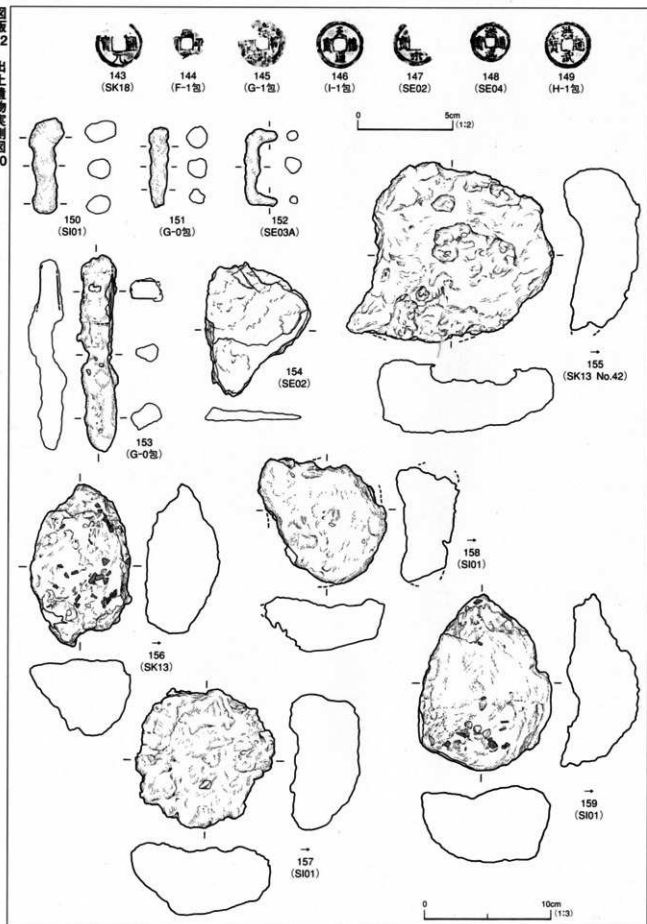
円形陶片(94~116) S=1:2、石製品(117~125) S=1:5



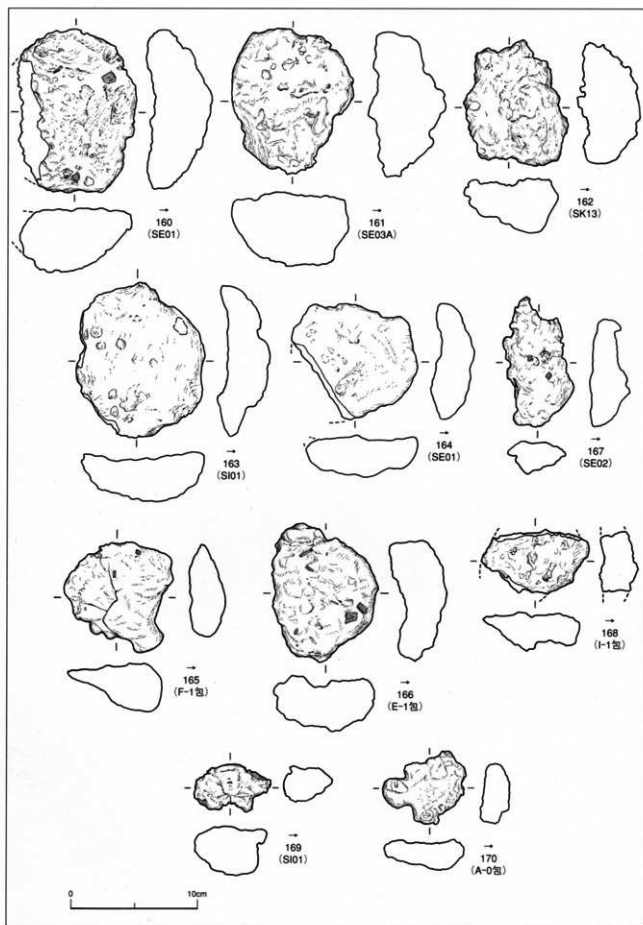
石製品(126~132) S=1:5(126・127) S=1:3(128~132)



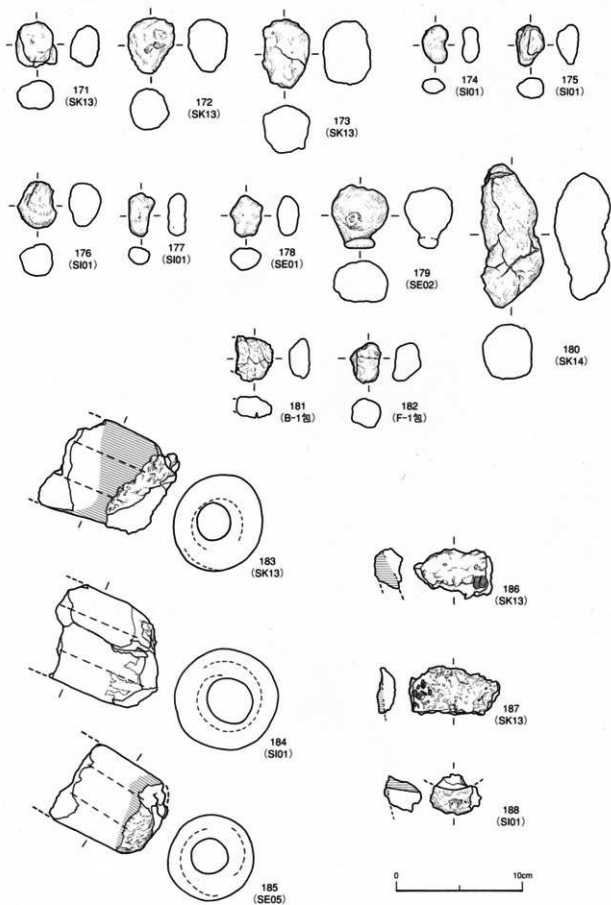
石製品(133~136) 木製品(137~142) S=1:3



銭貨(143~149) 鉄製品(150~154) 鍛冶関連遺物(155~159) S=1:2(143~152)
S=1:3(153~159)



鐵冶関連遺物(160~170) S=1:3



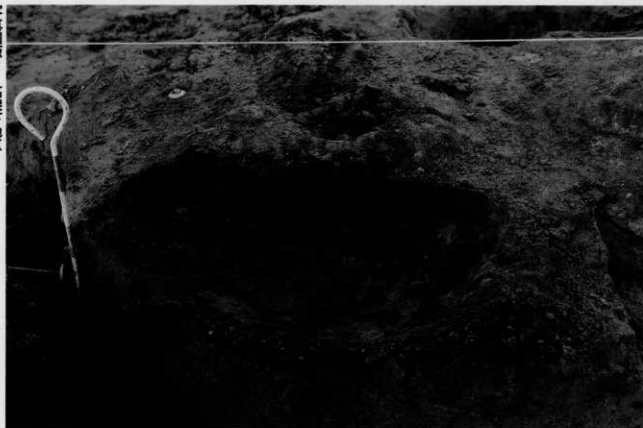
鍛冶関連遺物(171~188) S=1:3



高架下地区全景



鍛冶炉関連遺構(SF01) 鍛打作業土台の埋設変検出状況



鍛冶炉関連遺構 (SF01-P1) 鍛冶滓集積の断面



井戸跡 (SE01) 埋設結核出状況



八幡町地区全景



湧水土坑 (SE02・SE03) 完掘状況 (黒いシミが結核抜き取り痕か)



井戸跡 (SE04) 埋設結構検出状況



井戸跡 (SE04) 埋設結構検出状況

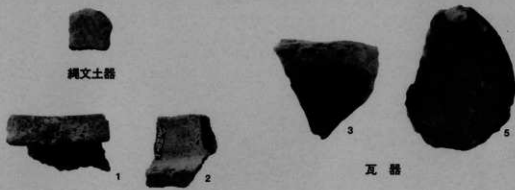


鹿棄土坑 (SK13) 下層遺物検出状況



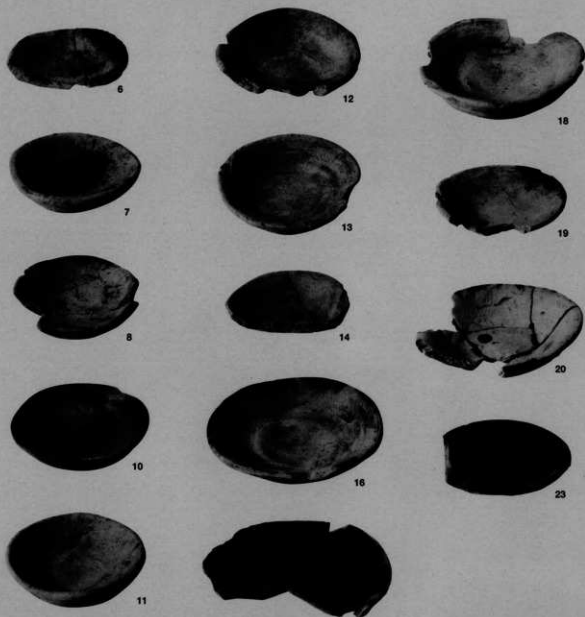
複合ピット (SK22) 埋納焼礫出土状況 (この下に凹石)

縄文土器

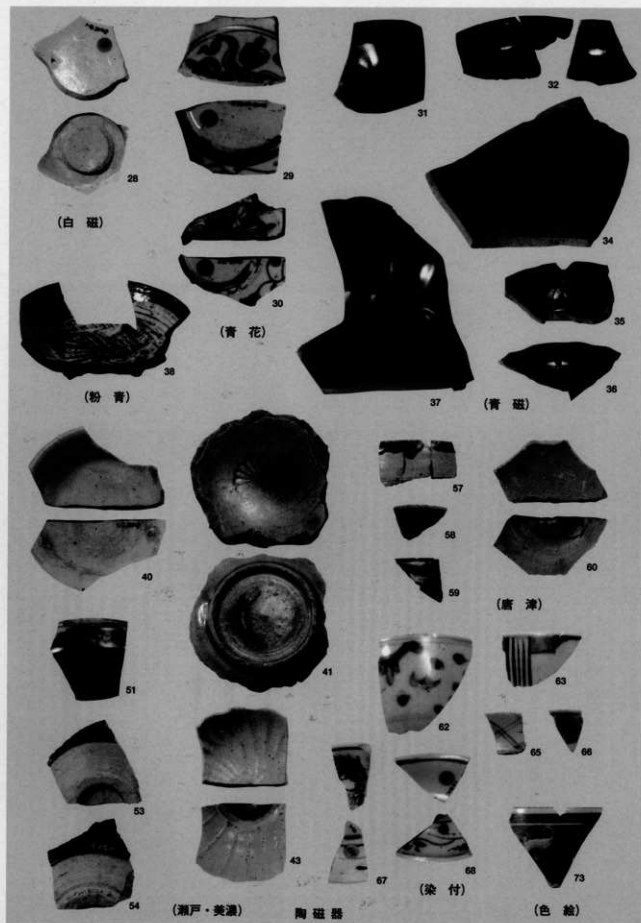


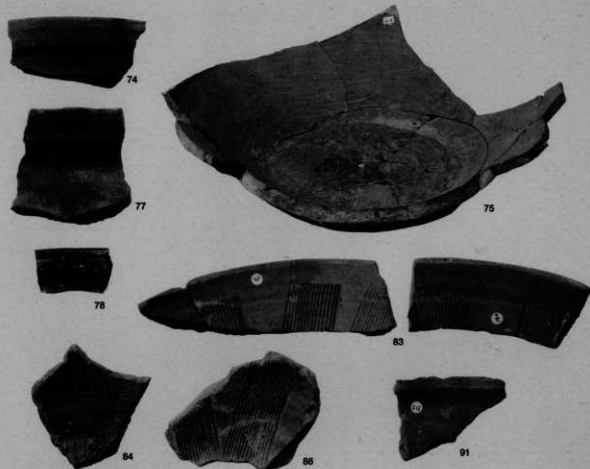
瓦器

弥生土器



土師器皿

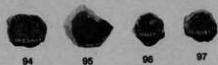




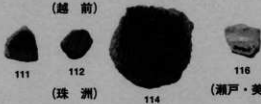
(越前)

炆器

(珠洲)



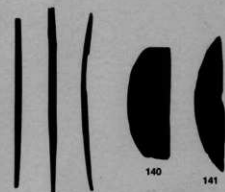
(越前)



(珠洲)

(瀬戸・美濃)

円形陶片



(箸)



銭貨



(曲物)

木製品



117

(石 鉢)



118



121

(行 火)



126



127

(石 臼)



128



129

(砥 石)



130

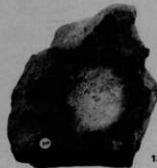


131



132

(凹 石)

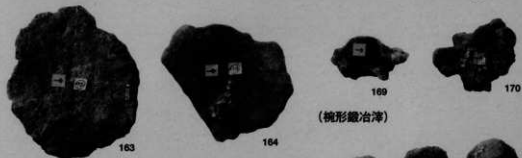
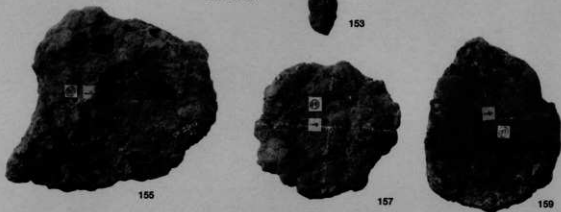


135

石製品



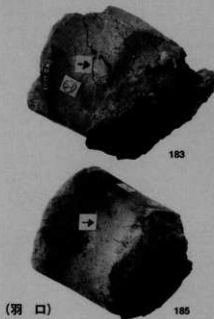
鉄製品



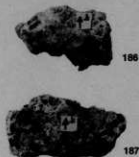
(桃形鍛冶滓)



(鉄塊系遺物)



(羽口)



鍛冶関連遺物

(炉壁)

報告書抄録

ふりがな	さいわいちょういせき1							
書名	幸町遺跡I							
副書名	市道高架横断2号線道路改良工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	宮田 明							
編集機関	小松市教育委員会							
所在地	〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地 TEL (0761)22-4111							
発行年月日	2005年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
さいわいちょういせき 幸町遺跡	いしかわけんこまつし 石川県小松市 やわたまち 八幡町96番地先 みっかいちまちじかた 三日市町地方	17203		36° 23′ 37″	136° 27′ 11″	20030728 \n 20030929	350㎡	道路改良 工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
幸町遺跡	散布地	縄文 弥生 古代		縄文土器 弥生土器 須恵器				
	その他の 生産遺跡 (鍛冶)	室町	鍛冶炉関連遺構1 廃棄土坑6 湧水土坑2 井戸跡3 複合ピット3	土師器皿、瓦器、陶磁器(白磁、青花、青磁、粉青、天目、瀬戸、唐津)、拓器(越前、珠洲)、円形陶片、石製品(石鉢、行火、石臼、砥石、凹石)、鉄製品(釘、鏝ほか)、木製品(結桶、箸、曲物)、銭貨(渡来銭)、鍛冶関連(羽口、鍛冶滓ほか)				
	散布地	江戸		陶磁器(肥前ほか)			近世地方耕地	
要約	<p>幸町遺跡の今次調査成果は、既往の第1・2次調査と同じく15世紀代に営まれた鍛冶関連の生産遺跡としての資料を追加するものであり、16世紀代の遺物は主要な遺構に殆ど絡まない出土状況であった。本報告では、発見された遺構の分類に努め、作業場(鍛冶炉関連遺構)、廃棄場(廃棄土坑)、保管場?(複合ピット)という位置づけをした。井戸跡に関しては、検出状況の検討から廃絶時に結桶の抜き取りを試みていた可能性が高く、抜き取りに成功した遺構が湧水土坑ということになろう。</p>							

幸町遺跡 I

市道高架横断2号線道路改良工事に係る
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成17年3月31日 発行

編集・発行 石川県小松市教育委員会
石川県小松市小馬出町91 TEL.(0761)22-4111
印刷 有限会社源田美術印刷
石川県小松市丸の内町2-32 TEL.(0761)22-7031

お詫び

編集者の不注意により、16～17頁、表5のデータの一部がすべて欠落しておりました。深くお詫び申し上げますとともに、以下に、欠落データを抜粋いたします。

図版	番号	ID(Y)	原体密度 (μm)
18	83	140	卸目 3.8
		141	卸目 3.3
18	85	142	卸目 3.8
18	86	143	卸目 4.3
		144	卸目 3.8
		145	卸目 4.3
		146	卸目 3.8
		147	卸目 3.8
		148	卸目 4.3
		149	卸目 3.8
		150	卸目 3.3
		151	卸目 3.0
		152	卸目 4.3
		153	卸目 3.3
		154	卸目 4.3
18	84	155	卸目 3.8
		157	卸目 3.8
		158	卸目 4.3
		159	卸目 2.7
		161	卸目 3.3
		167	卸目 3.3
		168	卸目 3.3
		171	卸目 3.0
		173	卸目 3.3
		174	卸目 3.3
		180	叩目 2.7
		181	叩目 2.5
		182	叩目 4.3
		183	叩目 3.0
		184	叩目 3.0
		185	叩目 2.5
		186	叩目 2.7
		18	92
196	卸目 3.0		
198	卸目 3.0		
18	90	200	卸目 2.7
		207	卸目 3.0
18	91	212	卸目 3.3
		213	卸目 3.0